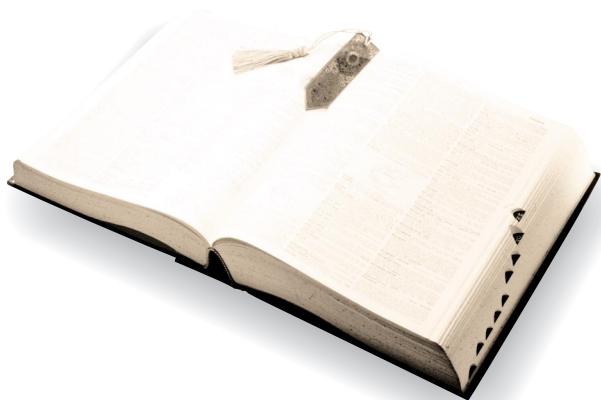




NEC

「おかしいな?」と思ったときに、この一冊!
購入時の状態に戻すには、このマニュアルで再セットアップを!

困ったときのQ&A



LaVie

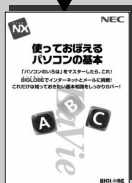
マニュアルを活用しよう

このパソコンには次のマニュアルや練習ソフトが用意されています。
『はじめにお読みください』でセットアップを終了したら、目的に応じて次のマニュアルや練習ソフトを活用してください。



『はじめにお読み
ください』

パソコンを使っているいろいろなことをはじめたい!



『使っておぼえるパソコンの基本』

- ・ インターネットやメールをする
- ・ 文字の入力のしかた
- ・ Windowsの基本操作
- ・ BIGLOBEに入室する

パソコン初心者なので、基本的なこと
から覚えたい!



『パソコンのいろは』

- ・ NXパッドの使いかた
- ・ 文字の入力のしかた
- ・ Windowsの基本操作を覚える
- ・ インターネットの練習

このパソコンの機能をもっと使いこなしたい!

『もっと知りたいパソコン』

- ・ パソコンの機能を詳しく知る
- ・ 周辺機器を接続する
- ・ パソコンのメンテナンスをする
- ・ BIOSの設定を変更する



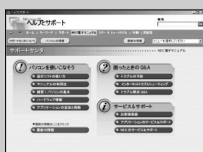
困ったなあ、どうしたらいいのかな?



『困ったときのQ&A』

- ・ トラブルを解決する
- ・ パソコンを再セットアップする

知りたいことを画面上で調べてみよう



『サポートセンター』(電子マニュアル)

- ・ 添付のアプリケーションを使う
- ・ トラブルを解決する
- ・ アプリケーションを追加 / 削除する
- ・ サービス&サポート窓口紹介

巻末に簡単な操作方法が載っています。




はじめに

このマニュアルは、パソコンを使っていて「おかしいな?」「故障かもしれない」などと感じたときに、問題を解決するための手引き書です。まず、見出しからあなたのパソコンで起きている問題を探し、項目が見つかったら、原因や解決方法をよく読んで対処してください。

2001年5月 初版

表記について

記号

 チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 メモ	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
 参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

モデル

モデルの呼びかた

LaVie C	LC800J、LC750J
LaVie M	LM800J、LM700J、LM60H
LaVie S	LS70H
Office XPモデル	Office XP Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
TVモデル	TVチューナパックが搭載されているモデルのことです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを内蔵または添付しているモデルのことです（LaVie Gシリーズのみ）
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことです。

対象モデル一覧

型名	表記の区分				
	モデル区分	添付アプリケーション	CD-R/RW・DVD-ROM	通信機能 ¹	ディスプレイ
LS70H/74DH	LaVie S ²	Office XP モデル	CD-R/RW with DVD-ROM モデル	-	14.1型モデル
LC800J/74DH	LaVie C			-	
LC750J/74DH					
LM800J/72DH	LaVie M	Office XP モデル	CD-R/RW with DVD-ROM モデル	携帯電話 (DoPa/PDC) 接続ケーブル添付	12.1型モデル
LM700J/72DH				-	
LM60H/72DH				-	

1:内蔵モデム以外の通信機能

2:TVモデル

LaVie Gシリーズについて

LaVie Gシリーズの各モデルについては、添付の『LaVie Gシリーズをご購入されたお客様へ』をご覧ください。

操作方法

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを示します。 【 】+【 】はキーを同時に押すことを表しています。
←	←はEnterキーを押すことを表しています。
「 」 「 」 「 」 「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。 [例] 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「メモ帳」 「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「プログラム」を選択し、横に現れるサブメニューから「アクセサリ」 「メモ帳」を順に選択することを示します。

コントロールパネルの開き方

コントロールパネルは次のどちらかの方法で開くことができます。

- ・ 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」
- ・ 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、表示された「マイコンピュータ」画面の「コントロールパネル」アイコンをダブルクリックする

「コントロールパネル」の画面に操作したいアイコンが表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてアイコンを表示させてください。

「添付ソフトの使い方」

次の方法で「添付ソフトの使い方」を開き、各アプリケーションの使い方を参照することができます。

「スタート」ボタン 「NEC電子マニュアル」 「添付ソフトの使い方」

記載内容

- ・ 画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・ 本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。
- ・ 本文中に記載されているBIOSセットアップメニューは、BIOSセットアップメニューとBIOSセットアップユーティリティの両方を示します。

ソフトウェアの正式名称

Windows、 Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal (Microsoft Word, Microsoft Excel, Microsoft Outlook®, Microsoft Bookshelf® Basic3.0)
インターネット エクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 5.5
Outlook Express、 Outlook Express 5	Microsoft® Outlook® Express 5.5
MS-IME 2002	Microsoft® IME 2002
インターネットする ならBIGLOBE	BIGLOBEインターネット接続ツール

VirusScan	VirusScan Ver5.13a
VideoStudio	Ulead VideoStudio Version4.0 SE Basic
Easy CD Creator	Easy CD Creator™ 4 Standard
DirectCD	DirectCD™ 3
てきばき家計簿 マム	てきばき家計簿マム2Plus/2000
スナップショット	スナップショット Ver2.1
ホームページデザイナー	ホームページデザイナー Ver2.0

上記以外の正式名称について

上記以外のソフトウェアの正式名称につきましては、「スタート」ボタン 「NEC電子マニュアル」 「サポートセンタ」の「サポートセンタについて」をご覧ください。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリーパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

このパソコンには、レーザーに関する安全基準(JIS-C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-R/RW・CD-R/RW with DVD-ROMドライブが内蔵または添付されています。

ご注意

- (1)本書の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® Melは本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

McAfee VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

AdaptecおよびAdaptec社のロゴは、Adaptec, Inc.の登録商標です。

Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec, Inc.の商標です。

Virtual CDは、Far Stone Tech, Inc.の登録商標です。

「Ulead」、「VideoStudio」は、Ulead Systems, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

「BIGLOBE」、「アクティブメニューNX」は、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

メールアドレスは、(株)宝島ワンダーネットの登録商標です。

「てきばき家計簿マム」はテクニカルソフト株式会社の商標です。

筆王は株式会社アイフォーの登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2001

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関して海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

トラブル解決への第一歩	1
パソコンとトラブル	2
トラブルが起こる理由	2
「サポートセンタ」を見る	4
サポートセンタを使う	4
トラブルの予防	6
トラブルが起こる前にやっておくこと	6
Windows Me起動ディスクを作成する	7
システムのバックアップ	7
データとインターネット設定のバックアップ	8
定期的にハードディスクを点検する	12
コンピュータウイルスの侵入を防ぐ	13
VirusScanを使ってウイルスを駆除する	15
リソースを確保する	16
トラブルが起こってしまったら	20
トラブル解決の近道	20
問い合わせ方法について	22
ヘルプツールを使う	22
「追加情報 (READMEファイル)」を見る	25
インターネットで解決方法を探す	25
パソコンを再起動する	27
スキャンディスクを使う	27
セーフモードでWindowsを起動する	30
Windows Me起動ディスクからパソコンを起動する	31
バックアップしたシステムやデータを復元する	33
コントロールパネルを開く	35
デバイスマネージャを表示する	36
パソコンの情報を表示する	36

トラブル解決Q & A	37
パソコンが動かない	38
Windows Meが起動しない	38
使用中にパソコンが動かなくなった	40
初めて電源を入れたら	42
セットアップの画面が表示されない	42

セットアップの途中で電源を切ってしまった	43
セットアップの途中でパソコンが動かなくなった	44
電源を入れたが / 切ろうとしたが	45
電源ランプが点灯しているのに画面が表示されない	45
電源を入れても電源ランプが点灯せず、パソコンが起動しない	46
Windows Meが起動しない	46
パソコンを起動したら画面にカーソルが表示された	46
「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディスクが	
はじめた	47
「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示された	47
「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された	47
「Non-system disk or disk error」と表示された	48
「Operating System not found」または「Please Insert Another Disk...」	
と表示された	49
その他のメッセージが表示された、またはピーツという	
エラー音がした	50
Windowsが終了できない	50
省電力機能	51
スタンバイ状態(サスペンド)にできない	51
自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にすることができない	51
休止状態(ハイバネーション)にしようとするスタンバイ状態	
(サスペンド)になってしまう	52
スタンバイ状態(サスペンド)または休止状態(ハイバネーション)	
からの復帰(レジューム)時、画面が表示されない	52
復帰(レジューム)できない	52
パスワード	55
「入力されたパスワードが間違っています」と表示された	55
パスワードを忘れてしまった	55
バッテリー	57
充電できない	57
フル充電したのにバッテリー充電ランプが点灯する	57
バッテリー充電ランプが点滅する	57
インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されない	58
ディスプレイ	59
ディスプレイに何も表示されない	59

画面が真っ暗になった	60
表示や色がおかしい	60
解像度や表示色を変更できない	61
スクリーンセーバー復帰時に保護エラーが表示された	61
MS-DOSプロンプトがアクティブのときにスタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させても画面が表示されない	62
NXパッド	63
何も反応しない、または反応が鈍い	63
NXパッドやマウスの誤操作を防ぎたい	64
キーボード	68
キーボードのキーを押しても、何も反応しない	68
キーボードで押したキーと違う文字が表示される	69
サウンド機能	70
光デジタルオーディオ出力からの音が鳴らない	70
周辺機器	72
周辺機器を取り付けたらパソコンが正常に動かなくなった	72
別売の周辺機器を取り付けたが正しく動作しない	73
新しい周辺機器を接続したときに「このデバイス用のソフトウェアが見つかりませんでした」と表示されてドライバのインストールができない	74
接続していないCD-ROMドライブが表示され、アクセスしようとするとエラーになる(LaVie Mの場合)	75
ドライブ名がおかしい	75
アプリケーション	76
アプリケーションの動作が遅い、起動しない	76
ワンタッチスタートボタンを押してもアプリケーションが起動しない	77
MS-DOSプロンプト	78
フルスクリーンになったMS-DOSプロンプトを元に戻したい	78
MS-DOSプロンプト画面で、Windows Meのスクリーンセーバーが起動した	78
ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続しようとしたら(LAN内蔵モデルのみ)	79
ネットワークへの接続方法が分からない	79
ネットワークに接続できない	79
共有ドライブやフォルダが使えない	80
【F12】を押してもネットワークブートができない	81

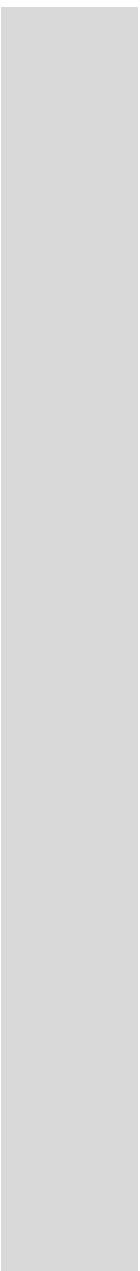
その他	82
インターネット / パソコン通信 / FAXが使えない	82
スキャンディスクが中断される	82
コンピュータウイルスが検出された	83
日付と時刻を確認したい	83
インターネットエクスプローラを終了しても回線が切断されない ..	84

再セットアップ

85

再セットアップする前に	86
こんなときは再セットアップ	86
再セットアップの種類	88
再セットアップの準備をする	89
操作の流れ	89
データのバックアップをとる	89
パソコンの使用環境の設定を控える	90
BIOSの設定を初期値に戻す	91
必要なものをそろえる	92
本体の準備をする	93
再セットアップ時の注意	94
購入したときと同じ状態にする (標準再セットアップモード)	95
操作の流れ	95
1 システムを再セットアップする	96
2 Windows Meの設定をする	99
3 アプリケーションを再セットアップする	102
4 各種の設定をする	105
データを保護して再セットアップする (データ保護再セットアップモード)	106
操作の流れ	106
必ずお読み下さい	107
1 システムを再セットアップする	108
2 Windows Meの設定をする	111
3 アプリケーションを再セットアップする	111
4 各種の設定をする	111

全領域を1パーティションにして再セットアップする (カスタムモード)	112
操作の流れ	112
1 システムを再セットアップする	112
2 Windows Meの設定をする	114
3 アプリケーションを再セットアップする	115
4 各種の設定をする	115
Cドライブのみを再セットアップする (カスタムモード)	116
操作の流れ	116
1 システムを再セットアップする	116
2 Windows Meの設定をする	118
3 アプリケーションを再セットアップする	119
4 各種の設定をする	119
ハードディスクの領域を自由に設定する (カスタムモード)	120
操作の流れ	120
基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域	121
ハードディスクの容量について	122
1 領域を削除する	123
2 新しい領域を作成する	128
3 ドライブを初期化(フォーマット)する	134
4 システムを再セットアップする	135
5 Windows Meの設定をする	136
6 アプリケーションを再セットアップする	136
7 ハードディスクを5つ以上に分割した場合	137
8 各種の設定をする	137
付録	139
アフターケアについて	140
保守サービスについて	140
消耗品 / 消耗部品について	140
補修用性能部品について	140
譲渡 / 廃棄について	141
このパソコンを譲渡するには	141
このパソコンを廃棄するには	142



索引	143
この本の索引	144
トラブルチェックシート	147
お問い合わせの前に	147

P A R T

1

トラブル解決への第一歩

パソコンに起こるトラブルの予防とトラブルへの対策について説明しています。
本格的にパソコンを使い始める前に、一度目を通しておいください。

パソコンとトラブル

パソコンのトラブルには「作ったデータを間違えて消してしまった」というものから、「急にパソコンが動かなくなった」といったようなものまで、さまざまなものがあります。ここではパソコンで起こりうるトラブルについて説明しています。

トラブルが起こる理由

ここでは、よくあるトラブルの原因を説明します。

手軽さ、便利さに潜む落とし穴

パソコンでは、アプリケーションを使って文書や画像などを手軽に作成することができます。また、作成したデータは、簡単にコピーをしたり、一部分だけを直したりという便利な使い方ができます。

しかしその反面、操作ミスですべてのデータが消えてしまうこともあります。完全に消してしまったデータは、二度と元に戻すことはできません。

このトラブルの予防には、「バックアップ」が有効です。



参照

バックアップについて このPARTの「データとインターネット設定のバックアップ」(p.8) 「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.33)

パソコンは精密機械

パソコンは、たくさんの部品でできた精密機械です。通常の使用なら大丈夫ですが、乱暴に扱ったりすると、故障の原因になります。

特に、次のようなことに注意してください。

- ・電源が入っているときに本体を移動しない
本体の中に入っているハードディスクは、構造上、振動に弱いものです。パソコンの電源が入っているときに本体を動かすと、このハードディスクが壊れてしまうことがあります。特に何かに「コソソ」とぶつけたりするのが一番危険です。

コンピュータウイルスに注意

パソコンは、世界中でいろいろな人が使っています。その中には残念ながら、パソコンをおかしくしてしまう「コンピュータウイルス」を作って、ばらまいている人たちもいます。インターネットや電子メール、他の人からもらったソフトやデータを通じて、パソコンがコンピュータウイルスに感染してしまうことがあります。

このトラブルを予防するには、知らない人から来た電子メールやそこに添付されてきたファイル、よくわからないファイルは開かないことが大切です。また、このパソコンに入っている「VirusScan」を使って、定期的にウイルスに感染していないかどうかのチェックをするのが有効です。



参照

- ・コンピュータウイルスについて このPARTの「コンピュータウイルスの侵入を防ぐ」(p.13) PART2の「コンピュータウイルスが検出された」(p.83)
- ・VirusScanについて このPARTの「VirusScanを使ってウイルスを駆除する」(p.15)

「サポートセンタ」を見る

「サポートセンタ」にはこの本にはない項目がたくさんあります。探している項目がこの本で見つからなかった場合は、「サポートセンタ」をご覧ください。困ったときにご覧いただくQ&Aの内容は、この本と「サポートセンタ」の「困ったときのQ&A」で構成されています。

サポートセンタを使う

1 ショットメニューの「サポートセンタ」をクリックする



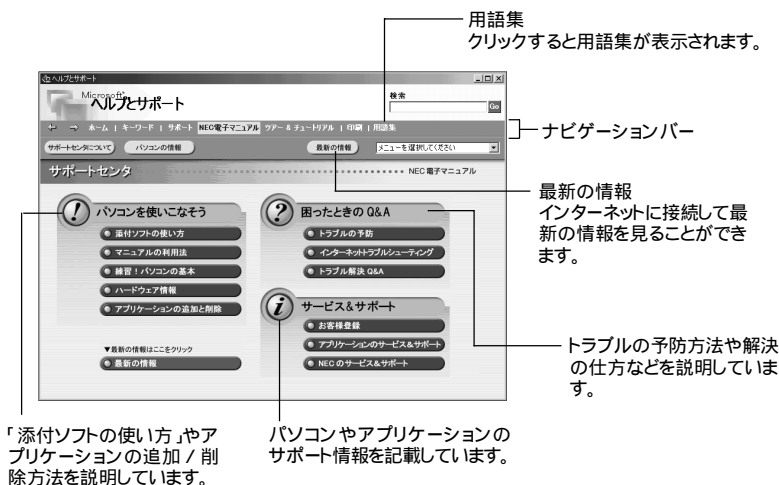
モデルにより画面が異なります。



メモ

「サポートセンタ」は、「スタート」ボタン 「NEC電子マニュアル」をクリックしても起動することができます。

「サポートセンタ」の画面が表示されます。



チェック

サポートセンタの項目の中には、クリックすると「ダイヤルアップの接続」ウィンドウが表示されるものがあります。これは、インターネットへ接続しようとしていることを表します。インターネットへ接続すると、インターネット接続サービス料金やアクセスポイントまでの電話料金 どちらもお客様負担 がかかります。説明を見終わったら、必ず回線を切断してください。一度インターネットに接続されると、自分で回線を切断しない限り、サポートセンタを終了するまで、回線が接続されたままになり、料金がかかり続けます。ご注意ください。なお、「インターネット無料体験」でインターネットに接続してご利用になることもできます。詳細は『使っておぼえるパソコンの基本』PART1の「インターネット無料体験」に接続をご覧ください。

サポートセンタの内容を印刷する

- 1 パソコンにプリンタを接続し、印刷できるように設定する



参照

印刷する 『もっと知りたいパソコン』PART4の「プリンタ」

- 2 サポートセンタで、印刷したい画面を表示させる

- 3 メニューバーの「印刷」ボタンをクリックする
「印刷」の画面が表示されます。

- 4 内容を確認し、「OK」ボタンをクリックする
表示されている画面が印刷されます。

トラブルの予防

ここでは、トラブルの予防方法を説明します。トラブルに対する準備や、対処法をしっかりとっておけば、トラブルを未然に防いだり、起きてしまったトラブルを解決したりできます。

予防方法の中には事前にやっておかなければならないこともありますので、パソコンを使い始める前に読んでおいてください。

トラブルが起こる前にやっておくこと

トラブルを予防するために、事前にやっておくことを説明します。これらの操作は、万一の場合に備えて定期的に行うことをおすすめします。

Windowsが正しく動作しなくなったときのために

- ➔Windows Me起動ディスクを作成する(p.7)
- ➔システムのバックアップ(p.7)

作成した大切なデータを、間違えて消してしまったときのために

- ➔データとインターネット設定のバックアップ(p.8)

トラブルを未然に防ぐために

- ➔定期的にハードディスクを点検する(p.12)
- ➔コンピュータウイルスの侵入を防ぐ(p.13)
- ➔VirusScanを使ってウイルスを駆除する(p.15)

パソコンを快適に使用するために

- ➔リソースを確保する(p.16)

Windows Me起動ディスクを作成する

ハードディスクからWindowsが正しく起動できないときに「Windows Me起動ディスク」を使うと、フロッピーディスクからパソコンを起動することができます。次の手順で、あらかじめWindows Me起動ディスクを作っておいてください（フォーマット済みのフロッピーディスクが1枚必要です）。

- 1 「コントロールパネル」を開く
- 2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3 「起動ディスク」タブをクリックする
- 4 フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れる
- 5 「ディスクの作成」ボタンをクリックする

Windows Me起動ディスクの作成がはじまります。

作成したWindows Me起動ディスクは、ライトプロテクトをかけて大切に保管しておいてください。



参照

- ・Windows Me起動ディスクを使う このPARTの「トラブルが起ってしまったら」の「Windows Me起動ディスクからパソコンを起動する」(p.31)
- ・ライトプロテクト 「サポートセンタ」-「トラブル解決Q&A」-「フロッピーディスク」-「フロッピーディスクの書き込みができない」

システムのバックアップ

Windows Meには、あらかじめ正常なシステムを保存しておいて、問題が起きたときに元の状態に復元する機能があります。ご購入時の状態では、パソコンが起動し続けている状態で10時間ごとに、また、パソコンの起動に関係なく、24時間ごとにシステムの復元ポイントを作成するように設定されています。復元ポイントを作成するタイミングを自由に変えることもできます。



参照

システムの復元について 「添付ソフトの使い方」-「システムの復元」このPARTの「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.33)

データとインターネット設定のバックアップ

バックアップとは

パソコンに何か異常な事態が起きた場合、Windows MeやアプリケーションはバックアップCD-ROMなどから復元できます。この作業を「再セットアップ」といいます。

ただし、再セットアップを行うと、購入後にインストールしたアプリケーションや、自分で作成した文書やデータ、保存してある電子メールなどはすべて失われます（BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを除く）。ハードディスクに保存したファイルやフォルダを、誤って消した場合も同様です。このような万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに作成データの複製を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するために、定期的にバックアップをとることをおすすめします。

バックアップが必要なデータ

再セットアップを行うと失われるデータと元に戻せるデータには、以下のようなものがあります。

	データの一例
再セットアップを行うと失われるデータ	<ul style="list-style-type: none">・ワープロの文章・入力した伝票のデータ・購入後にインストールしたアプリケーション・送受信したメール・メールのアドレス帳・インターネットの設定・BIOSセットアップメニューの設定(パスワードを除く)
再セットアップを行うと元に戻せるデータ	<ul style="list-style-type: none">・Windows Me(OS)・添付の「アプリケーションCD-ROM」にはいっているアプリケーション(ただし、再セットアップ完了後に再追加が必要)

インストールに必要なCD-ROMなどをお持ちの場合には、再セットアップ完了後に再インストールすると使えるようになります。



参照

再セットアップ 「PART3 再セットアップ」

バックアップを取るタイミング

誤ってデータを消してしまったり、パソコンのシステムが故障するなどの事態はいつ起こるかわからないので、特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびにバックアップを取ってください。

また、日時や曜日を決めて、定期的に必要なデータのバックアップを取ることも有効です。

バックアップ先について

データをバックアップするには、データを保存するための記憶媒体(バックアップ先)が必要です。

次の表を参考にバックアップ先となる記憶媒体を選択してください。

バックアップ先	メリット	デメリット
内蔵ハードディスクのDドライブ	<ul style="list-style-type: none"> 記録スピードが速い 追加の機器が必要ない 容量が非常に大きい(数Gバイト程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスク自体が故障した場合には、データが失われる
外付けハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> 記録スピードが速い 容量が非常に大きい(数Gバイト程度) 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> 別売の外付けハードディスクやPCカードが必要
CD-RやCD-RW	<ul style="list-style-type: none"> 持ち運びが可能 記録スピードが比較的速い 容量が大きい(数百Mバイト程度) 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> 別売のCD-RやCD-RWが必要 お使いの機種によっては、CD-RやCD-RWを扱えるドライブやPCカードが必要
フロッピーディスク	<ul style="list-style-type: none"> 持ち運びが可能 他の媒体に比べて安い 内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> 容量が小さい(約1.4Mバイト) 記録スピードが遅い 別売のフロッピーディスクが必要 お使いの機種によっては、別売のフロッピーディスクドライブが必要

バックアップの手順

内蔵ハードディスクのDドライブにバックアップを取る

内蔵のハードディスクは購入時の状態では、Windowsなどのシステムが保存されている「Cドライブ」と、何もデータが入っていない「Dドライブ」に分けられています。

このDドライブにバックアップを取ります。

ハードディスク自体は故障していなくても、誤って重要なシステムファイルを削除してしまったり、本機では正常に動作しないアプリケーションをインストールすると、Windows Meが起動しなくなる場合があります。

このような場合に「Cドライブのみを再セットアップする」方法で再セットアップを行うと、トラブルを解決できます。この方法では、Cドライブのデータはすべて失われますが(BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを除く)、Dドライブのデータは残ります。

そのため、システムの調子がおかしくなった場合には、Dドライブへのバックアップが有効です。また、新しい機器を購入する必要がないため、購入直後からバックアップを取ることができます。



参照

Cドライブのみを再セットアップする 「PART3 再セットアップ」の「Cドライブのみを再セットアップする(カスタムモード)」

フロッピーディスクなどにバックアップを取る

FDドライブにバックアップを取った後、フロッピーディスクや外付けハードディスク、CD-RWなど、FDドライブとは別の記憶媒体にもバックアップを取っておくと安全です。

万一ハードディスクが故障しても、これらの記憶媒体にバックアップを取っていると、ハードディスクを修理した後で、データを復旧することができます。



チェック

お使いのモデルによっては、これらの記憶媒体にバックアップを取るために、別売の機器を購入する必要があります。



参照

- ・バックアップをとる媒体 このPARTの「データとインターネット設定のバックアップ」の「バックアップ先について」(p.9)
- ・バックアップしたデータの復元 このPARTの「バックアップしたシステムやデータを復元する」(p.33)

バックアップ-NXを使う

「バックアップ-NX」を使うと、アプリケーションのデータやインターネット設定のバックアップを作成することができます。



参照

「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」の「バックアップする」

バックアップできるアプリケーション

ご購入時の状態では、このパソコンに添付されている以下のアプリケーションのデータを「バックアップ-NX」を使ってバックアップすることができます。

- ・IEのお気に入り
- ・Microsoft Excel(Office XPモデルのみ)
- ・Microsoft Outlook(Office XPモデルのみ)
- ・Microsoft Word(Office XPモデルのみ)
- ・Outlook Express 5
- ・SmartGallery
- ・SmartVision(TVモデルのみ)
- ・VideoStudio
- ・イメージング
- ・スナップショット
- ・てきばき家計簿マム2PIus/2000
- ・ペイント
- ・ホームページデザイナー

- ・ メールドール
- ・ メモ帳
- ・ ランチ-NX
- ・ ワードパッド
- ・ 筆王

バックアップできるインターネット設定

以下のインターネット設定をバックアップすることができます。

- ・ インターネットオプション (Internet Explorer) の設定 (接続用)
- ・ ダイアルアップアダプタのTCP/IP設定
- ・ ダイアルアップネットワークの設定

一覧にないアプリケーションのバックアップ

パソコン購入後に自分でインストールしたアプリケーションのデータ等のバックアップを作成したい場合は、「バックアップ-NX」にあらかじめ登録しておく必要があります。



参照

「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」の「アプリケーションを登録する」

インターネット設定をバックアップする

インターネット接続に必要な情報を簡単にバックアップするには以下のようなものがあります。

「バックアップ-NX」を使う

「インターネットオプション」や「ダイアルアップネットワーク」の設定などをバックアップすることができます。



参照

このPARTの「バックアップ-NXを使う」(p.10)

定期的にハードディスクを点検する

ハードディスクは精密機械です。ハードディスクやハードディスクに記録されているデータの障害の防止や発見、効率的な利用のために、検査や整備をするように心がけてください。

このパソコンにはこれらの検査や整備のためのツールがあらかじめインストールされています。

ハードディスクを検査 / 修復する

「スキャンディスク」を使うことで、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータに障害がないかどうかを検査することができます。

「スキャンディスク」は、ハードディスクドライブ上のFAT(ファイルアロケーションテーブル)や、クラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックします。定期的にスキャンディスクを行って、ハードディスクに障害がないか検査してください。もし障害があった場合は、修復するようにしてください。



参照

「スキャンディスク」の使いかた 「サポートセンタ」 「トラブルの予防」 「予防のためのツール」 「スキャンディスク」

ハードディスクのデータを整理する

「デフラグ」を使うことで、ハードディスク上のデータのフラグメンテーション(断片化)を解消し、データの並びを連続した状態に最適化することができます。



メモ

フラグメンテーション(断片化)とは、データがディスクの空いている場所に、バラバラに保存されている状態をいいます。この状態になると、データが連続していないため、データの読み書きに時間がかかるようになります。



参照

「デフラグ」の使いかた 「サポートセンタ」 「トラブルの予防」 「予防のためのツール」 「デフラグ」

使用していないファイルを削除する

「ディスククリーンアップ」を使うことで、知らないうちにハードディスクにたまった unnecessary ファイルを削除して、ディスクの空き容量を増やすことができます。



メモ

unnecessary files, when using the Internet or installing software, or when using software, temporary files are created.



参照

「ディスククリーンアップ」の使いかた 「サポートセンタ」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「ディスククリーンアップ」

メンテナンスを定期的に行う

ハードディスクのトラブルを予防するためには、定期的にメンテナンスをすることが重要です。「メンテナンスウィザード」を使うことで、ハードディスクのメンテナンスを決められた時間に自動的に実行するように設定することができます。



参照

「メンテナンスウィザード」の使いかた 「サポートセンタ」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「メンテナンスウィザード」

コンピュータウイルスの侵入を防ぐ

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。ユーザ（使用者）が気づかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス

一般に、実行ファイル（拡張子が .EXE や .COM ）に感染するタイプのウイルスです。ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能とは、ワープロや表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス

パソコンの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ (IPL) といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない
- ・マクロ感染型ウイルスのおそれがあるので、出所が不明なワープロや表計算のファイルを開かない
- ・インターネットからプログラムをダウンロードするときは、直接実行せずいったんディスクに保存し、チェックしてから使用する
- ・入手したプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・ウイルス検査を定期的に行う

このパソコンにはウイルスチェック用プログラムとして「VirusScan」がインストールされています。

また、定期的にバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。



参照

バックアップの取りかた このPARTの「データとインターネット設定のバックアップ」(p.8)

ウイルスを発見したら

ウイルスを駆除するには、該当ファイルを削除して、アプリケーションを再インストールすることが一番安全で確実な方法です。ただし、発見されたウイルスがブートセクタ型の場合、ブートセクタがウイルスに感染した可能性のある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウイルスが発見されたパソコンで使用した媒体(フロッピーディスクやハードディスクなど)をすべて検査する必要があります。

ウイルスの被害届について

日本では、ウイルスを発見した場合、所定の機関への届出が義務付けられています。届出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況の把握のためにも積極的な報告をお願いします。

届け出先: 情報処理振興事業協会(通称IPA)

本部 〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
文京グリーンコート センターオフィス16階
IPAセキュリティセンターウイルス対策室

電話 03-5978-7509

FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

VirusScanを使ってウイルスを駆除する

VirusScanは、パソコンがウイルスに感染していないか进行检查し、万一感染していたときには、それを駆除することができます。

ウイルスの検査には以下の方法があります。

- ・VShield
常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスが感染しないように検査します。
- ・VirusScanスケジューラ
あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスが感染していないかをチェックします。
- ・VirusScan
その場でウイルスに感染していないか进行检查します。



チェック

- ・このパソコンにインストールされているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。常に新種のウイルスに対応するためには、ウイルス定義ファイル(DAT)とスキャンエンジン(ウイルス検出エンジン)の更新が必要です。なお、スキャンエンジンの更新にはユーザー登録が必要です。詳しくは、「スタート」-「プログラム」-「McAfee ウイルススキャン」-「ウイルススキャン ユーザー登録」をご覧ください。
- ・インターネットに接続できる環境(プロバイダに入会済みの場合)は、「VirusScanセントラル」で「アップデート」ボタンを押すことにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。
- ・「VirusScan」でエマージェンシーディスクを作成する場合、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

常に検査する

「VShield」を使うことで、ファイルのアクセス、コピー、実行などを常に監視し、リアルタイムでウイルスの感染を検査することができます。



参照

「VShield」の使いかた 「添付ソフトの使い方」-「VirusScan」

定期的に検査する

「VirusScanスケジューラ」で1回、毎時、毎日、毎週、毎月と期間を指定して、自動的にウイルス感染の検査を実行することができます。



参照

「VirusScanスケジューラ」の使いかた 「添付ソフトの使い方」-「VirusScan」

すぐに検査する

「VirusScan」は、その場でファイルがウイルスに感染していないかを検査することができます。

外部からファイルを受け取ったときには「VirusScan」を実行して、受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。



参照

「VirusScan」の使いかた 「添付ソフトの使い方」-「VirusScan」

ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「駆除」をクリックしてウイルスを駆除してください。詳しい説明は、VirusScanセントラルのヘルプを参照してください。

リソースを確保する

リソースとは、アプリケーションやウインドウ、アイコン等の管理情報を格納する領域のことで、アプリケーションを使うにはリソースが必要です。複数のアプリケーションを同時に起動すると、リソースが少なくなり、アプリケーションの動きが遅くなったり、パソコンが動かなくなってしまうことがあります。このような現象を防ぐためには、使わないアプリケーションをこまめに終了するようにしましょう。また、ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合にも、パソコンの動きが遅くなることがあります。この場合には、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。



参照

「サポートセンタ」-「トラブル解決Q&A」-「画面」-「壁紙(背景)を変えたい」

アプリケーションやパソコンの動きが遅くなった場合は、次の手順でリソースを確認してください。

リソースを確認する

- 1 「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「リソースメーター」をクリックする
リソースメーターの画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックします。
インジケータ領域(タスクトレイ)にリソースメーターのアイコンが表示されます。



画面は機種によって異なります。

インジケータ領域(タスクトレイ)に表示されたアイコンが赤に達している場合は、リソースが不足しています。起動中のアプリケーションや常駐プログラムを終了させてください。また、起動時に自動的に実行されているプログラムで、必要性が低いと思われるものを実行しないように設定することで、リソースの消費量を抑えることもできます。

起動中のアプリケーション / 常駐プログラムを終了させる

起動中のアプリケーションを終了させる

このパソコンに添付のアプリケーションの終了方法については、「添付ソフトの使い方」をご覧ください。その他のアプリケーションについては、各アプリケーションの終了方法にしたがって終了させてください。

終了したいアプリケーションが選択できないとき

作業中に「リソースが足りません」というようなメッセージが表示された場合で、終了したいアプリケーションが選択できないようなときには、次の手順でアプリケーションを終了させてください。

- 1 【Alt】を押しながら【Tab】を押す
ウィンドウが表示されます。
- 2 【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、【Alt】をはなす
- 3 タスクバーに表示されているアプリケーション名を右クリックする
メニューが表示されます。

4 「閉じる」をクリックする

これでアプリケーションを終了させることができます。
作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。

常駐プログラムを終了させる

アプリケーションの中には、パソコンを起動するたびに、自動的に起動するように設定されているものがあります(これをアプリケーションの常駐といいます)。画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)に表示されているアプリケーションのうち、使っていない常駐アプリケーションのアイコンを右クリックし、アプリケーションを終了させる項目(アプリケーションによって異なりますが、「終了」「終了する」などが一般的です)をクリックしてアプリケーションを終了させてください。

上記の操作を行っても改善されないとき

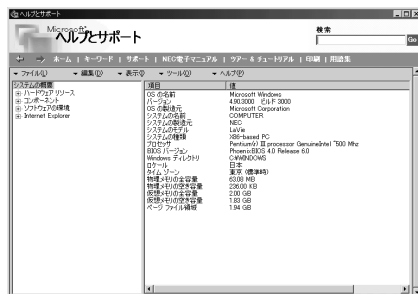
上記の操作を行ってもアプリケーションの動きが遅いままのときや、パソコンが動かなくなってしまう場合には、次のように操作してください。

アプリケーション終了後、Windowsを再起動する

アプリケーションの中には、終了させてもリソースを解放しないものがあります。アプリケーションを終了させてもリソースが解放されない場合は、Windowsを再起動してください(p.27)。

プログラムを自動実行されないようにする

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「システム情報」をクリックする
「ヘルプとサポート」の画面が表示されます。



- 2 メニューの「ツール」「システム設定ユーティリティ」をクリックする
「システム設定ユーティリティ」の画面が表示されます。

3 「スタートアップ」タブをクリックする プログラムの一覧が表示されます。



4 自動実行しないようにするプログラムの をクリックして にする

5 「OK」ボタンをクリックする 再起動を促すメッセージが表示されます。

6 「はい」ボタンをクリックする Windowsが自動的に再起動します。

トラブルが起きてしまったら

パソコンを操作していてわからないことや困ったことが起きたときには、まずここで、解決方法や、実際にトラブルが起きたときに役立つ機能をさがしてみましょう。

トラブル解決の近道

パソコンが動かなくなった

- ⇒「PART2 トラブル解決Q&A」の「パソコンが動かない」、「電源を入れたが / 切ろうとしたが」を見る(p.38, 45)



チェック

パソコンから煙や異臭、異常な音が出たり、コード類が破損したときには、すぐに電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してからご購入元、または『121wareガイドブック』に記載のサポート窓口にご連絡ください。

パソコンの調子が悪い

- ・トラブルの内容を確認する
 - ⇒「PART2 トラブル解決Q&A」の中から当てはまる項目を探す
 - ⇒ヘルプツールを使う(p.22)
 - ⇒「追加情報(READMEファイル)」を見る(p.25)
 - ⇒インターネットで解決方法を探す(p.25)
- ・パソコンの状態をチェックする
 - ⇒パソコンを再起動する(p.27)
 - ⇒スキャンディスクを使う(p.27)
 - ⇒セーフモードでWindowsを起動する(p.30)
 - ⇒Windows Me起動ディスクからパソコンを起動する(p.31)
- ・破損したデータの復元
 - ⇒バックアップしたシステムやデータを復元する(p.33)
- ・パソコン情報を確認する
 - ⇒コントロールパネルを開く(p.35)
 - ⇒デバイスマネージャを表示する(p.36)
 - ⇒パソコンの情報を表示する(p.36)

アプリケーションの操作方法がわからない

- ⇒「添付ソフトの使い方」または「サポートセンタ」-「トラブル解決Q&A」で関連する項目を探す(p.4)
- ⇒「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」または「サポートセンタ」-「アプリケーションのサービス&サポート」を見て、アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせ

エラーメッセージが表示された

- ⇒まず、表示されたエラーメッセージを書き留める
- ⇒このマニュアルの「索引」からエラーメッセージを検索して、対処法を探す(p.143)
- ⇒「サポートセンタ」-「トラブル解決Q&A」で関連する項目を探す(p.4)

パソコン本体に関する問題が起こった

- ⇒「PART2 トラブル解決Q&A」の中から当てはまる項目を探す
- ⇒「サポートセンタ」-「トラブル解決Q&A」で関連する項目を探す(p.4)

その他のトラブル

- ⇒「PART2 トラブル解決Q&A」の中から関連する項目を探す
- ⇒「サポートセンタ」-「トラブル解決Q&A」で関連する項目を探す(p.4)
- ⇒「追加情報(READMEファイル)」を見る(p.25)
- ⇒インターネットで解決方法を探す(p.25)

問い合わせ方法について

トラブルが解決しなかったら

トラブルの解決方法が見つからなかった場合には、次のようにしてサポート窓口にお問い合わせください。

巻末の「トラブルチェックシート」にトラブルの内容を記入してください

パソコン本体に関しては

『121wareガイドブック』に記載のサポート窓口にお問い合わせください。

添付アプリケーションに関しては

『添付ソフトウェアサポート窓口一覧』に記載のサポート窓口にお問い合わせください。



参照

問い合わせ先について 「サポートセンタ」の「サービス&サポート」

ヘルプツールを使う

このパソコンでは、次のようなヘルプ情報を見ることができます。

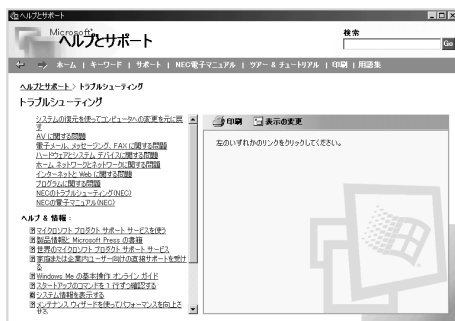
Windowsのヘルプ

Windowsのトラブルが起こったときには、Windowsのヘルプで解決策を探してみましょう。



「スタート」ボタン 「ヘルプ」をクリックすると「ヘルプとサポート」が表示されます。



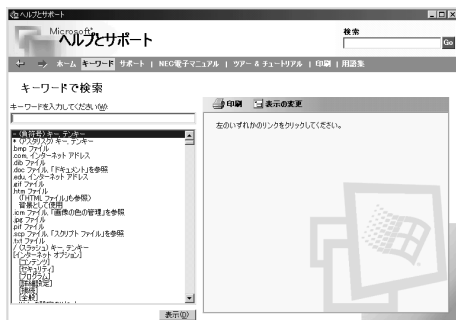
トラブルシューティングで探す



「トラブルシューティング」では、状況に応じた問題解決のヒントが表示されます。次のように操作してください。

- 1 「ヘルプとサポート」の画面で「トラブルシューティング」をクリックするトピックが表示されます。
- 2 見たいトピックをクリックする
更に詳細なトピックが表示されます。
- 3 トピックから見たい項目をクリックする
右側のウィンドウにトラブルの原因や解決方法が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
項目によっては、右側のウィンドウに状況一覧が表示されることがあります。そのような場合にはあてはまる状況の  をクリックして  にし、ウィンドウの一番下の「次へ」ボタンをクリックすると、右側のウィンドウに、トラブルの原因や解決方法が表示されます。

キーワードで探す



調べたい項目のキーワードを指定して探すことができます。次のように操作してください。

- 1 「ヘルプとサポート」の画面でナビゲーションバーの「キーワード」をクリックする
キーワードを入力する画面が表示されます。
- 2 調べたいキーワードを入力する
キーワードは、下に表示されているリストから選ぶこともできます。
- 3 「表示」ボタンをクリックする
関連する内容が右側のウィンドウに表示されます。
なお、手順3のあとに更に詳細なトピックの画面が表示される場合もあります。その場合は、調べたいトピックを選んで「表示」ボタンをクリックすると、関連する内容が右側のウィンドウに表示されます。

関連するキーワードで探す



調べたい項目に関連するキーワードを指定し、項目を探すことができます。次のように操作してください。

- 1 「ヘルプとサポート」の画面右上にある「検索」部分に調べたい項目に関連するキーワードを入力する
- 2 「GO」ボタンをクリックする
詳細なトピックの一覧が表示されます。
- 3 見たいトピックをクリックする
関連する内容が右側のウィンドウに表示されます。

「追加情報(READMEファイル)」を見る

このパソコンに関する補足情報などを、パソコンの画面上で見ることができます。「追加情報」には、マニュアルやヘルプなどに記載されていない重要な情報が記載されていることがありますので、一度目を通しておくことをおすすめします。「追加情報」は、「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「追加情報」をクリックすると見ることができます。

インターネットで解決方法を探す

インターネットでトラブル対策を探すのも有効な方法です。ここでは、Q&A情報を提供している主なホームページを紹介します。



NECのパソコン関連総合サイト「121ware」



画面は2001年3月現在のものです

「121ware」は、お客様一人一人に合ったサービスと、パソコン関連商品の情報をご提供するNECのパソコン関連総合サイトです。Q&A検索、商品別サポート情報、ビギナー向けQ&A集、よくあるお問い合わせなどが用意されています。また、そのほかにも商品情報やダウンロードサービスなどもあります。

「121ware」に接続するには

デスクトップ画面にある121wareアイコンをダブルクリックし、表示されるウィンドウの  ボタンをクリックする

[ホームページアドレス]

<http://121ware.com/>



メモ

121wareについて 『121wareガイドブック』

マイクロソフトサポート技術情報

このホームページでは、Windows Meや、Windows Meの関連製品のQ&Aや、最新情報を参照することができます。

「マイクロソフトサポート技術情報」に接続するには

- 1 インターネットエクスプローラを起動する
- 2 「ヘルプ」をクリックし、表示されたメニューから「オンライン サポート」をクリックする
マイクロソフトサポート技術情報のホームページが表示されます。

[ホームページアドレス]


<http://www.microsoft.com/japan/support/>

パソコンを再起動する

再起動とは、一度パソコンの電源を切り、再びパソコンの電源を入れることです。パソコンを再起動することで、正常な状態に戻る場合もあります。また、各種の設定の変更を有効にするには、パソコンの再起動が必要なことがあります。

自分で再起動する場合

自分で再起動する場合には、次のようにしてください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
「Windowsの終了」の画面が表示されます。
- 2 をクリックし、「再起動」をクリックする
- 3 「OK」ボタンをクリックする
パソコンが再起動します。

「再起動しますか?」と表示された場合

「はい」ボタン(または「OK」ボタン)をクリックすると、自動的にパソコンが再起動します。

スキャンディスクを使う

スキャンディスクを使うと、Windows Meやアプリケーションの動作不良、または強制終了によるデータの書き損じなどのトラブルを検査、修復することができます。また、パソコンが異常終了した直後の再起動時には、自動的にスキャンディスクが実行され、ハードディスクを修復します。トラブルを予防するためには、毎日または週に1回など、定期的なスキャンディスクを実行することをおすすめします。



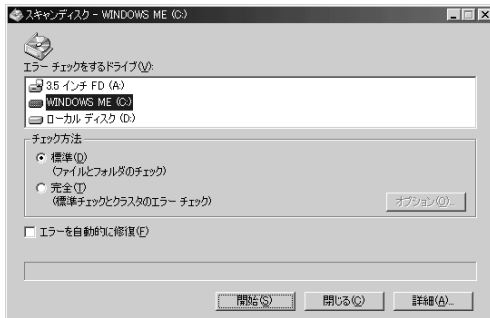
参照

スキャンディスクについて 「サポートセンタ」「トラブルの予防」「予防のためのツール」「スキャンディスク」

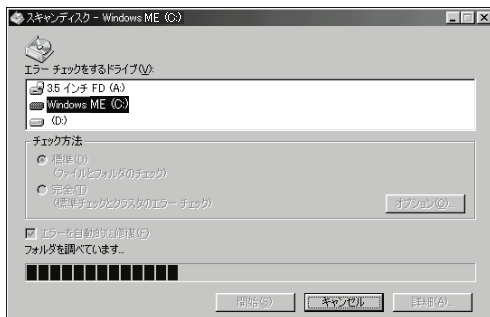
Windows Meが起動するとき

Windows Meが起動するときには、次の手順でWindows Meのスキャンディスクを実行してください。

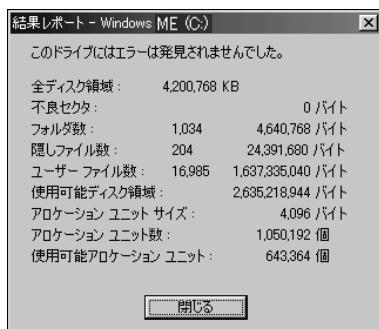
- 1 起動中のアプリケーションや、常駐しているソフトウェアを終了させる
- 2 「スタート」ボタン「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」で、「スキャンディスク」をクリックする
「スキャンディスク」の画面が表示されます。



- 3 「エラーチェックをするドライブ」からチェックしたいドライブをクリックする
- 4 「チェック方法」の「標準」の○をクリックし●にする
- 5 「エラーを自動的に修復」の□をクリックし☑にする
- 6 「開始」ボタンをクリックする
ハードディスクのチェックが始まります。



ハードディスクのチェックが終わると、次のような「結果レポート」が表示されます。



画面は一例です

- 7 「結果レポート」の画面の「閉じる」ボタンをクリックする
「スキャンディスク」の画面に戻ります。

- 8 「スキャンディスク」の画面の「閉じる」ボタンをクリックする



メモ

「結果レポート」で重大な問題が発見されたというメッセージが表示された場合は、もう一度スキャンディスクを実行してください。このとき、手順4で「チェック方法」の「完全」の○をクリックして●にしてください。また、「オプション」ボタンをクリックすると、より詳細な設定を行うことができます。なお、完全チェックは、標準チェックよりも時間がかかります。

Windows Meが起動しないとき

Windows Meが起動しないときは、Windows Me起動ディスクからパソコンを起動してスキャンディスクを実行してください。



参照

Windows Me起動ディスクからの起動方法 このPARTの「トラブルが起ってしまったら」の「Windows Me起動ディスクからパソコンを起動する」(p.31)

セーフモードでWindowsを起動する

セーフモードは、トラブルが発生したときに最小限のシステム環境でパソコンを起動できるWindowsのモードです。

一度セーフモードでパソコンを起動し、スキャンディスクなどのシステムツールでトラブルを解決してパソコンを再起動すると、正常な状態のWindowsに戻れることがあります。



メモ

- ・セーフモードでは、最小限の機能しか使えません。CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、USBフロッピーディスクドライブ、プリンタなどは使えません。
- ・セーフモードでは、配色や解像度が通常のWindowsとは異なります。

セーフモードで起動する

1 パソコンの電源を入れる

2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら【Ctrl】を押し続ける

「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。

【Ctrl】を押し続けても「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されない場合は、再起動してNECのロゴが表示された後、すぐに【F8】を何回か押ししてください。

3 【 I 】を使って「3.Safe mode」を選び、【Enter】を押す

これで、セーフモードでWindowsが起動し、「ヘルプとサポート」の「セーフモードに関するトラブルシューティング」が表示されます。

セーフモードでスキャンディスクを実行する

トラブルを解決したいときには、さらに、次の手順でスキャンディスクを実行してください。

1 「スキャンディスクを使う」の「Windows Meが起動するとき (p.28)にしたがって、スキャンディスクを実行する

2 スキャンディスクが終了したら、「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする

3 をクリックし、「再起動」をクリックする

4 「OK」ボタンをクリックする

パソコンが再起動し、問題がなければ、正常な状態に戻ります。

 チェック

スキャンディスクを行っても問題が解決されないときは、システムに障害が発生している可能性があります。次のようなときには再セットアップを行ってください。

- ・システムファイルに異常が発見されたとき
- ・異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき
- ・動作が不安定なとき
- ・画面が正しく表示されないとき

Windows Me起動ディスクからパソコンを起動する

ハードディスクからWindowsが正しく起動できないときには、「Windows Me起動ディスク」を使ってフロッピーディスクからパソコンを起動することができます。

 参照

Windows Me起動ディスクの作りかた このPARTの「トラブルの予防」の「Windows Me起動ディスクを作成する」(p.7)

Windows Me起動ディスクを使った起動方法

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows Me起動ディスク」をセットする
「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。

 メモ

「Windows Me起動ディスク」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクを取り出し、電源を切ってから、もう一度手順1からやり直してください。

- 3 **【 I 】**を使って「2.Start computer with CD-ROM support.」を選び、**【 Enter 】**を押す
「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。
- 4 **【 半角 / 全角 】**を押す
しばらくすると「A: ¥ > _」と表示されます。これで、パソコンが起動できました。

スキャンディスクの起動と終了

Windows Me起動ディスクを使ってパソコンを起動している状態でスキャンディスクを実行したいときには、次のように操作してください。

1 次のように入力する



スキャンディスクが実行され、ハードディスクのチェックがはじまります。エラーが発見されたときはメッセージが表示されますので、「ファイルに変換する」を選んで修復を実行してください。「クラスタスキャンを実行しますか?」とメッセージが表示されます。

2 【 I 】で <いいえ(N)> を選んで【 Enter 】を押す

3 【X】を押す

これでスキャンディスクの操作は終了です。

ハードディスクからパソコンを再起動したい場合は、Windows Me起動ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出してから電源を切り、5秒以上待ってからもう一度電源を入れてください。

チェック

スキャンディスクを行っても問題が解決されないときは、システムに障害が発生している可能性があります。次のようなときには再セットアップを行ってください。

- ・システムファイルに異常が発見されたとき
- ・異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき
- ・動作が不安定なとき
- ・画面が正しく表示されないとき

バックアップしたシステムやデータを復元する

Windows Meの動作が不安定になったときは、システムファイルやアプリケーションデータにトラブルが起きていることが考えられます。このような場合には、システムやデータを復元することで正常な状態に戻る場合があります。

システムを復元する

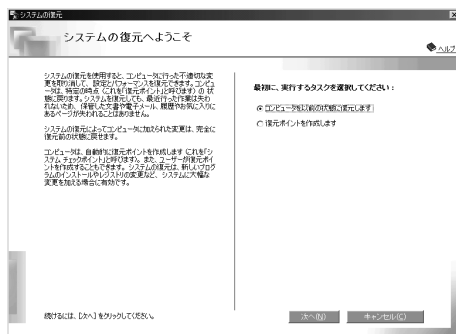
本機の動作が不安定になるなど、システムにトラブルが起きてしまった場合には、Windowsの「システムの復元」を実行すると、もとの安定した状態に戻すことができます。



チェック

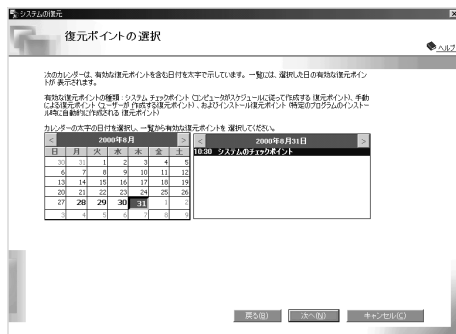
システムの復元を行うときは、あらかじめ起動中のアプリケーションを終了させてください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」 「システムの復元」をクリックする
「システムの復元」の画面が表示されます。



- 2 「コンピュータを以前の状態に復元します」が☑になっていることを確認する

- 3 「次へ」ボタンをクリックする
「復元ポイントの選択」の画面が表示されます。



- 4 復元ポイントを選択する

- 5 「次へ」ボタンをクリックする



チェック

「コンピュータを復元する前に、開いているファイルをすべて保存、または閉じてください。起動しているプログラムがある場合は、すべて終了してください。復元が完了するまで、ファイルまたはプログラムを変更したり、開いたり、削除しないでください。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。

「復元ポイントの選択の確認」の画面が表示されます。

- 6 「次へ」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

再起動後に「復元が完了しました」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。



チェック

お客様が作成したファイル(データファイル)は、「システムの復元」では復元することはできません。

データを復元する

あらかじめバックアップしておいたデータを復元します。

自分でバックアップしたデータの復元

自分でバックアップしたデータは、バックアップ元のフォルダにファイルを移動またはコピーしてください。

「バックアップ-NX」でバックアップしたデータの復元

「バックアップ-NXを使う」(p. 10)でバックアップしたアプリケーションのデータやインターネット設定は、バックアップ-NXを使って復元することができます。



参照

「バックアップ-NX」でバックアップしたデータを復元する 「サポートセンター」-「トラブルの予防」-「予防のためのツール」-「バックアップ-NX」

コントロールパネルを開く

トラブルを解決するために「コントロールパネル」を使うことがあります。次のようにして表示させてください。

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリックする
「コントロールパネル」の画面が表示されます。



メモ

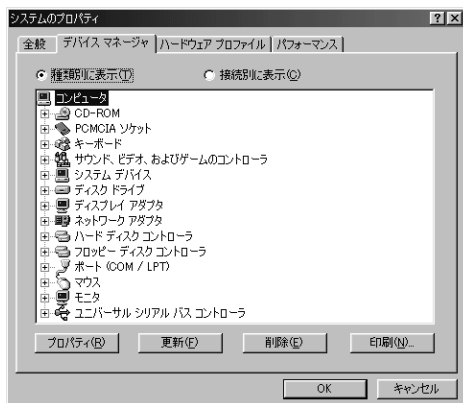
「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして表示される「マイコンピュータ」画面の「コントロールパネル」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。

「コントロールパネル」の画面に操作したいアイコンが表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックすると、すべてのアイコンが表示されます。

デバイスマネージャを表示する

周辺機器の状態やIRQ割り込みレベル)の設定を確認するためには、「デバイスマネージャ」を使うことがあります。次のようにして表示させてください。

- 1 「コントロールパネル」を開く
「コントロールパネル」の画面が表示されます。
- 2 「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
「デバイスマネージャ」の画面が表示されます。



モデルにより画面は異なります。

パソコンの情報を表示する

型番や製造番号、メモリ容量などのパソコン情報を、画面で確認することができます。

- 1 「サポートセンタ」を開く (p.4)
- 2 「パソコンの情報」ボタンをクリックする

P A R T

2

トラブル解決Q & A

トラブルの解決方法をQ&A形式で具体的に説明しています。

「サポートセンタ」の「困ったときのQ & A」やWindowsのヘルプなどとあわせてご覧ください。

パソコンが動かない



Windows Meが起動しない



BIOSセットアップメニューの設定が正しくない

次の方法でBIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻してから、もう一度電源を入れ直してください。

LaVie C/LaVie Mの場合



メモ

BIOSの設定を初期値に戻しても、パスワードの設定は解除されません。

- 1 PCカードをセットしているときは、取り外す
- 2 パソコンの電源を入れる
「NEC」のロゴが表示されます。
- 3 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押し続ける
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。



チェック

BIOSセットアップメニューが表示されない場合は、いったん電源を切り【F2】を押しながら電源を入れなおしてください。

- 4 【F9】を押す
「デフォルト値をロードしますか?」と表示されます。
- 5 「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す
- 6 【F10】を押す
「設定の変更を保存して終了しますか?」と表示されます。
- 7 「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す
これでBIOSの設定が初期値に戻りました。

LaVie Sの場合



BIOSの設定を初期値に戻しても、パスワードの設定は解除されません。

- 1 PCカードをセットしているときは、取り外す
- 2 パソコンの電源を入れる
「NEC」のロゴが表示されます。
- 3 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押し続ける
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。



BIOSセットアップメニューが表示されない場合は、いったん電源を切り、【F2】を押しながら電源を入れなおしてください。

- 4 【】を押して「デフォルト値をロード」を選ぶ
- 5 【Enter】を押す
「すべての設定項目にデフォルト値を書き込みますか？ はい いいえ」と表示されます。
- 6 「はい」を選ぶ
- 7 【Enter】を押す
- 8 【】を押して「変更を保存して終了」を選んで【Enter】を押すか【F10】を押す
「現在の状態を保存して設定を終了しますか？ はい いいえ」と表示されます。
- 9 「はい」を選ぶ
- 10 【Enter】を押す
これでBIOSの設定が初期値に戻りました。



使用中にパソコンが動かなくなった

A

フリーズ(ハングアップ)している

アプリケーションや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやアプリケーションが反応しなくなることがあります。このことをフリーズ(または「ハングアップ」「ストール」といいます。このようなときには、次のようにして異常のあるアプリケーションを終了させるか、パソコンを再起動させてください。

異常のあるアプリケーションを終了させるには



チェック

この方法でアプリケーションを終了させたときには、保存していないデータは消えてしまいます。

1 【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押す

「プログラムの強制終了」の画面が表示されます。



チェック

「プログラムの強制終了」の画面のウィンドウタイトル(キャプション)をクリックすると、キーボードやNXパッドの操作ができなくなる場合があります。

「プログラムの強制終了」の画面を閉じる場合は、必ず「キャンセル」ボタンをクリックするか、または【Esc】を押してください。

2 「応答なし」と表示されているプログラムをクリックし、「終了」をクリックする

異常を起こしているアプリケーションが強制的に終了します。

上記の方法でアプリケーションが終了できなかった場合は、次のようにして強制的にWindowsを終了させてください。

強制的にWindowsを終了する



チェック

この方法で電源を切ったときには、保存していないデータは消えてしまいます。

1 【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押す

「プログラムの強制終了」の画面が表示されます。

2 「シャットダウン」ボタンをクリックする

しばらくすると自動的にWindowsが終了し、パソコンの電源が切れます。

上記の方法でも電源が切れなかった場合は、次のようにして強制的にパソコンの電源を切ってください。

強制的にパソコンの電源を切る



チェック

この方法で電源を切ったときには、保存していないデータは消えてしまいます。

- 1 電源スイッチ(🔌)を約4秒以上操作し続ける
電源ランプ(💡)が消え、パソコンの電源が切れます。



チェック

「コントロールパネル」の「電源の管理」で、電源スイッチでスリープ状態になる設定をしていると、この操作をするとスリープ状態になってしまうことがあります。このようなときには、一度電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上操作し続けてください。

それでも電源が切れない場合は、『121wareガイドブック』をご覧の上、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

初めて電源を入れたら

Q セットアップの画面が表示されない

A 「Press F1 to resume, <F2> to Setup」と表示された場合は、次の操作を行ってください(LaVie C/LaVie Mの場合)

- 1 【F2】を押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 2 【F9】を押して「はい」を選ぶ
- 3 【Enter】を押す
- 4 【F10】を押して「はい」を選ぶ
- 5 【Enter】を押す

このあと、『はじめにお読みください』の手順にしたがって、パソコンのセットアップを続けてください。

A 「Press F1 to Run SETUP」と表示された場合は、次の操作を行ってください(LaVie Sの場合)

- 1 【F1】を押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 2 【】を押して「デフォルト値をロード」を選ぶ
- 3 【Enter】を押す
「すべての設定項目にデフォルト値を書き込みますか? はい いいえ」と表示されます。
- 4 「はい」を選ぶ
- 5 【Enter】を押す
- 6 【】を押して「変更を保存して終了」を選ぶか、【F10】を押す

7【Enter】を押す

「現在の状態を保存して設定を終了しますか? はい いいえ」と表示されます。

8「はい」を選ぶ**9【Enter】を押す**

BIOSセットアップメニューが終了し、パソコンが再起動します。



セットアップの途中で電源を切ってしまった



約5秒待ってからもう一度電源を入れ直してください

「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示された場合



この画面が表示された場合は、『はじめにお読みください』の手順にしたがって、セットアップを続けてください。

スキャンディスクがはじまった場合

スキャンディスクのあと上記の画面が表示された場合には、『はじめにお読みください』の手順にしたがって、セットアップを続けてください。

スキャンディスクのあと何かメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがってください。問題が解決すると上記の画面が表示されるので、『はじめにお読みください』の手順にしたがって、セットアップを続けてください。



チェック

システムに重大な問題が発見された場合には、再セットアップが必要です。



セットアップの途中でパソコンが動かなくなった



パソコンの処理に時間がかかっている

セットアップ中には、さまざまな情報の入力や設定が行われるため、正常に処理が行われているときでも、数分～数十分間画面が止まったようになることがあります。NXパッドやキーボードの操作ができなくなっても、あわてて電源スイッチを操作したりしないでください。

電源を入れたが / 切ろうとしたが



電源ランプが点灯しているのに画面が表示されない

A

ディスプレイの輝度(明るさ)が適切でない

ディスプレイの輝度を調整してください。

明るくするには

【Fn】+【F8】を押す

暗くするには

【Fn】+【F9】を押す

A

液晶ディスプレイが表示できない解像度に設定されている

強制的にパソコンの電源を切ったあと、セーフモードでWindowsを起動し、解像度を設定しなおしてください。



参照

- ・強制的に電源を切る方法 このPARTの「強制的にパソコンの電源を切る」(p.41)
- ・セーフモードでWindowsを起動する方法 PART1の「トラブルが起ってしまったら」の「セーフモードでWindowsを起動する」(p.30)
- ・解像度を設定する方法 『もっと知りたいパソコン』PART1の「液晶ディスプレイ」

A

別売のディスプレイが接続されている

別売のディスプレイを接続し、画面の出力先が「外部モニタ」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。接続しているディスプレイの電源が入っていることを確認してください。



マウス

【Fn】+【F3】で画面の出力先を切り替えることができます。

これらのチェックを行っても画面に何も表示されないときは、故障が考えられます。『121wareガイドブック』をご覧の上、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。



電源を入れても電源ランプが点灯せず、パソコンが起動しない

A

バッテリーパックやACアダプタが正しく接続されていない

『はじめにお読みください』をご覧になり、バッテリーパックやACアダプタの接続を確認してください。

A

バッテリーが充電されていない

ACアダプタを接続して使用するか、バッテリーを充電してから使用してください。ACアダプタを正しく接続して電源を入れても電源ランプ(①)が点灯しないときは、本機の故障が考えられます。『121wareガイドブック』をご覧の上、ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご相談ください。



Windows Meが起動しない

A

BIOSセットアップメニューの設定が正しくない

p.38の方法でBIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻してから、もう一度電源を入れ直してください。



パソコンを起動したら画面にカーソルが表示された

A

システムの入っていないフロッピーディスクがセットされている

ハードディスクからWindowsを起動したい場合

フロッピーディスクを取り出してパソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows Meが起動します。

フロッピーディスクからパソコンを起動したい場合

フロッピーディスクを取り出してください。その後、PC98-NXシリーズ用のWindows Meでフォーマットされ、Windows Meのシステムが入ったフロッピーディスクをセットし、何かキーを押してください。



メモ

PC-9800シリーズで作られたシステムディスクは使用できません。



「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった



前回正しく電源を切らなかったか、スタンバイ状態(サスペンド)にした内容が何らかの原因で失われてしまった

スキャンディスクの結果異常がなければ、そのままWindows Meが起動します。Windowsが正常に起動せず、メッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがってください。メッセージが表示されず、Windows Meも正常に起動しない場合には、再セットアップしてください。



参照

再セットアップするには「PART3 再セットアップ」



「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示された



Windows起動時に何らかの問題が発生した

「Enter a choice:」に「3 (3. Safe mode)」が表示されている場合は、次の手順でセーフモードを起動してください。

「ヘルプとサポート」の「セーフモードに関するトラブルシューティング」が表示されます。



参照

セーフモードについて PART1の「トラブルが起きてしまったら」の「セーフモードでWindowsを起動する」(p.30)



「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された



システムの入っていないフロッピーディスクがセットされている

ハードディスクからWindowsを起動したい場合

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押してパソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows Meが起動します。

フロッピーディスクからパソコンを起動したい場合

フロッピーディスクを取り出してください。その後、PC98-NXシリーズ用のWindows Meでフォーマットされ、Windows Meのシステムが入ったフロッピーディスクをセットし、何かキーを押してください。



メモ

PC-9800シリーズで作られたシステムディスクは使用できません。

A

ハードディスクがフォーマット(初期化)されてしまったか、システムが壊れている

Windows Me起動ディスクからパソコンを起動して、ハードディスクにスキャンディスクを実行し、ハードディスクの状態を調べてください。問題が発見されたときは画面の指示にしたがってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたときは、再セットアップしてください。また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows Meがインストールされていないときも、再セットアップしてください。



参照

- ・Windows Me起動ディスクからWindowsを起動する PART1の「トラブルが起こってしまったら」の「Windows Me起動ディスクからパソコンを起動する」(p.31)
- ・再セットアップするには「PART3 再セットアップ」

Q

「Non-system disk or disk error」と表示された

A

MS-DOSでフォーマットのみされたフロッピーディスクがセットされている

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows Meが起動します。フロッピーディスクドライブからパソコンを起動したい場合は、PC98-NXシリーズ用のWindows Meでフォーマットされ、Windows Meのシステムの入っているフロッピーディスクをセットし、何かキーを押してください。



「Operating System not found」または「Please Insert Another Disk...」と表示された

A

フロッピーディスクがセットされている

このパソコンで使用できないフロッピーディスクがセットされていると、このようなメッセージが表示されます。

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows Meが起動します。フロッピーディスクドライブからパソコンを起動したい場合は、PC98-NXシリーズ用のWindows Meでフォーマットされ、Windows Meのシステムの入っているフロッピーディスクをセットし、何かキーを押してください。

A

ハードディスクに問題がある

Windows Me起動ディスクからパソコンを起動してFDISKコマンドを実行し、Cドライブの状態を調べてください。



参照

Windows Me起動ディスクからWindowsを起動する PART1の「トラブルが起こってしまったら」の「Windows Me起動ディスクからパソコンを起動する (p.31)

Cドライブの「状態」のところに「A」が付いていない場合

FDISKオプションの「4. 領域情報を表示」で「領域C」の「状態」の所に「A」が付いていないときは、Cドライブが使えません(アクティブではありません)。「FDISKオプション」の画面で「2. アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。

「領域」の欄に何も表示されていない、または、「システム」の欄の下に「FAT32」以外のものが表示されている場合

ハードディスクがWindows Meで使える形式にフォーマットされていません。「PART3 再セットアップ」をご覧ください。再セットアップしてください。



その他のメッセージが表示された、またはピーツというエラー音がした



フロッピーディスクがセットされている

セットされているフロッピーディスクの種類によっては、このマニュアルに書かれていないメッセージが表示されたり、ピーツというエラー音がしたりします。フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows Meが起動します。フロッピーディスクドライブからパソコンを起動したい場合は、PC98-NXシリーズ用のWindows Meでフォーマットされ、Windows Meのシステムの入っているフロッピーディスクをセットし、何かキーを押してください。



ハードディスクに問題がある

メッセージや症状を書きとめて、『121wareガイドブック』をご覧の上、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。



Windowsが終了できない



デバイスマネージャの設定を変更する

Windowsのデバイスマネージャで「標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ」の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」がになっている場合は、下記の手順で設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「フロッピーディスクコントローラ」の左の \oplus をクリックし、「標準フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリックする
- 3 「全般」タブで「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」がになっている場合は、クリックしてにする
- 4 「OK」ボタンをクリックする

省電力機能

Q スタンバイ状態(サスペンド)にできない

A アプリケーションや周辺機器がスタンバイ機能に対応していない

アプリケーションや周辺機器によっては、スタンバイ機能を使うとパソコンが正常に動作しなくなることがあります。このようなときはパソコンを再起動してください(p.27)。

また、このようなアプリケーションや周辺機器を使用中には、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

A 電話回線やネットワークに接続中にスタンバイ機能を使おうとした

電話回線やネットワークに接続しているときにはスタンバイ状態(サスペンド)にすることはできません。回線を切断してからスタンバイ状態(サスペンド)にしてください。

A 「コントロールパネル」の「電源の管理」の設定が正しくない

「コントロールパネル」の「電源の管理」で「電源設定」タブの「LaVie / VersaPro」の電源の設定」欄の設定を確認してください。

Q 自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にすることができない

A 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器や機能を使っている

双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器や機能を使っているときには、自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にできないことがあります。周辺機器や機能を使わないようにするか、自動スタンバイの設定時間を変更してください。



休止状態(ハイバネーション)にしようするとスタンバイ状態(サスペンド)になってしまう



スタンバイ機能が設定されている

「コントロールパネル」の「電源の管理」で、休止状態(ハイバネーション)の設定が正しく行われているかどうか確認してください。



参照

休止状態(ハイバネーション)機能の設定 『もっと知りたいパソコン』PART1の「省電力機能」



スタンバイ状態(サスペンド)または休止状態(ハイバネーション)からの復帰(レジューム)時、画面が表示されない



NXパッドなどのポインティングデバイスやキーボードを操作すると正常に画面が復帰(レジューム)します



復帰(レジューム)できない



バッテリーの残量が足りない

ACアダプタを接続し、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、データが復帰(レジューム)します。



アプリケーションや周辺機器がスタンバイ機能に対応していない

アプリケーションや周辺機器によっては、スタンバイ機能を使うとパソコンが正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使用中には、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

A パソコンがWindowsの終了処理を行っている途中で次のいずれかの操作をした

- ・ディスプレイを閉めた
- ・スリープ状態にした
- ・電源を切った

このような操作をすると、データを正常に復帰(レジューム)できなくなることがあります。電源スイッチ(⏻)で電源を入れたあとメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。

A 休止状態(ハイバネーション)中に機器の構成を変えた

一度パソコンの電源を切り、機器構成を元どおりに戻してからもう一度パソコンの電源を入れてください。

A パスワードが設定されている(LaVie Sのみ)

復帰(レジューム)時にキャップスロックキーランプ(Ⓐ)とスクロールロックキーランプ(Ⓜ)が同時に点滅している場合は、パスワードが設定されています。パソコンの電源を入れたときに入力したパスワードを入力し、【Enter】を押してください。

A 「Previous resume from hibernate failed.Would you like to try again [Enter=Y, Esc=N] ?」というメッセージが表示された

メッセージが表示された場合は、【N】を押すと通常どおり本機を起動できます。



チェック

休止状態(ハイバネーション)の途中でこのようなメッセージが表示された場合は、休止状態(ハイバネーション)をする前の状態には復元されません。

A

ハイバネートファイルを削除する

Windowsが起動しない場合は、次の手順でハイバネートファイル(休止状態(ハイバネーション)の情報が保存されているハードディスク上のファイル)を削除してください。



チェック

次の操作を行ったあとWindowsが正常に動作しても、休止状態(ハイバネーション)にする前の状態は復元されません。保存していないデータは失われてしまいますので、休止状態(ハイバネーション)にする前に、必要なデータは必ず保存するようにしてください。

- 1 Windows Me起動ディスクをセットして、パソコンを再起動する
- 2 「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」の画面が表示されたら【**X**】を使って「2.Start computer with CD-ROM support.」を選び【Enter】を押す
- 3 コマンドプロンプトが表示されたら、次のように入力する

```
c:  
cd windows  
attrib -r -a -s -h vmmhiber.w9x  
del vmmhiber.w9x
```

- 4 フロッピーディスクドライブからWindows Me起動ディスクを取り出す
- 5 パソコンを再起動する



パスワード

Q 「入力されたパスワードが間違っています」と表示された

A パスワードが正しく入力されていない

パスワードをもう一度確認して、正しく入力しなおしてください。

A キーがロックされている

キャップスロックキーランプ()またはニューメリックロックキーランプ()が点灯している場合は、【Caps Lock】や【Num Lock】がロックされています。キーのロック状態がパスワード設定時と異なっていると、パスワードが正しく入力できないことがあります。ロックの状態を確認し、パスワードを設定したときと同じ状態にしてから、もう一度パスワードを入力しなおしてください。

キーのロック / 解除方法

【Caps Lock】のロックと解除

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押す

【Num Lock】のロックと解除

【Fn】を押しながら【F12】を押す(LaVie M)

【Num Lock】を押す(上記以外のモデル)

Q パスワードを忘れてしまった

A Windows Meのパスワードを忘れた場合

Windows Meのパスワードを忘れてしまったときは、「Windowsログオン」の画面で、新しいユーザー名でログオンを行うか、Windows Meを再セットアップしてください。

「Windowsログオン」でパスワードの入力をせずに「キャンセル」ボタンをクリックすると、ネットワーク上の「パスワードの保存」などの機能が使えなくなります。



購入時の設定では、「Windowsログオン」の画面は表示されません。ネットワークの設定などを行うと表示されるようになります。

A

ユーザパスワードやスーパーバイザパスワードを忘れた場合

ユーザパスワードを忘れてしまった場合は、『もっと知りたいパソコン』PART1の「セキュリティ機能」の手順にしたがって新しいユーザパスワードを設定してください。スーパーバイザパスワードを忘れてしまったときには、解除処置が必要です。『121wareガイドブック』をご覧くださいの上、NECフィールディングの各支店、営業所などにご連絡ください。


メモ

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてをご用意ください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身より専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。


バッテリー

Q 充電できない

A バッテリーがフル充電されている

既にバッテリーがフル充電されていたりフル充電に近い状態だと、充電されないことがあります。バッテリーがフル充電されている場合はACアダプタを接続してもバッテリー充電ランプ()が消灯しています。

A バッテリーパックが接触不良を起こしている

バッテリーパックが接触不良のときには、バッテリー充電ランプ()が点滅します。一度バッテリーパックを取り外してから取り付けなおしてください。

Q フル充電したのにバッテリー充電ランプが点灯する

A 異常ではありません

バッテリーは少しずつ自然放電しているため、それを補充するため、ACアダプタが接続されているときは自動的に充電が始まる場合があります。故障ではありません。

Q バッテリー充電ランプが点滅する

A バッテリーが正しく取り付けられていない

電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してからもう一度正しく取り付けなおしてください。



バッテリーパックを取り付けなおしても直らないときは、『もっと知りたいパソコン』PART1の「バッテリー」をご覧ください。バッテリーリフレッシュを行ってください。バッテリーリフレッシュを行っても直らないときは、バッテリーパックの寿命ですので、別売のバッテリーパックと交換してください。



インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されない

A

バッテリーパックが取り付けられていない

バッテリーパックでパソコンを使っている場合は、電源アイコン()が表示されます。ACアダプタを使用してACコンセントからパソコンを駆動している場合は電源アイコン()が表示されます。

A

電源アイコンを表示しない設定になっている

次の手順を行ってください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする
- 2 「詳細設定」タブをクリックする
- 3 「アイコンをタスクバーに常に表示する」のをクリックしてにする
- 4 「OK」ボタンをクリックする

ディスプレイ

Q ディスプレイに何も表示されない

A ディスプレイの輝度(明るさ)が適切でない
ディスプレイの輝度を調整してください。

明るくするには
【Fn】+【F8】を押す

暗くするには
【Fn】+【F9】を押す

A 液晶ディスプレイに表示できない解像度に設定されている

強制的に本機の電源を切ったあと、セーフモードでWindowsを起動して、解像度を設定しなおしてください。



- ・強制的に電源を切る方法 このPARTの「強制的にパソコンの電源を切る」(p.41)
- ・セーフモードでWindowsを起動する方法 PART1の「トラブルが起きてしまったら」の「セーフモードでWindowsを起動する」(p.30)
- ・解像度を設定する方法 『もっと知りたいパソコン』PART1の「液晶ディスプレイ」

A 別売のディスプレイが接続されている

別売のディスプレイを接続し、画面の出力先が「CRT」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。接続しているディスプレイの電源が入っていることを確認してください。



【Fn】+【F3】で画面の出力先を切り替えることができます。

A

DirectXに対応したアプリケーションを実行した

DirectXに対応した一部のゲームなどのアプリケーションを実行すると、画面が表示されなくなることがあります。アプリケーションの添付マニュアルを参照し、表示解像度を320×200ドット、640×400ドット以外に変更すると、障害を回避できることがあります。



メモ

320×200ドット、640×400ドットの解像度でしか使えないアプリケーションは、このパソコンでは正常に動作しない場合があります。

これらのチェックを行っても画面に何も表示されないときは、故障が考えられます。『121wareガイドブック』をご覧の上、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

Q

画面が真っ暗になった

A

「コントロールパネル」の「電源の管理」で「モニタの電源を切る」を設定している

NXパッドかキーボードを操作すると元の画面が表示されます。元に戻らない場合は、スタンバイ状態(サスペンド)になっていることが考えられます。スタンバイ状態(サスペンド)になっていると、電源ランプが点滅しています。スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させてください。

Q

表示や色がおかしい

A

Windows Meの表示色を256色にしている

アプリケーションによっては、表示色を256色にしていると、画面の色が正しく表示されない場合があります。次の操作をすると正しく表示されるようになります。

- 1 デスクトップ上のウィンドウやアイコン、タスクバー以外の部分を右クリックする
- 2 表示されたメニューから「アクティブデスクトップ」をポイントする
- 3 「Web コンテンツの表示」をクリックして、「Web コンテンツの表示」の左のチェックを外す

Q 解像度や表示色を変更できない

A 「互換性の警告」の画面からパソコンを再起動しようとした


「コントロールパネル」の「画面」アイコンをダブルクリックして解像度や表示色を設定を変えたときに、「互換性の警告」ウィンドウが表示されませんでしたか？「互換性の警告」ウィンドウで「新しい色の設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」ボタンをクリックすると、パソコンを正常に再起動できない場合があります。一度強制的にパソコンの電源を切った後、もう一度電源を入れてください。



参照

再起動する PART1の「トラブルが起ってしまったら」の「パソコンを再起動する」(p.27)

「互換性の警告」の画面が表示されている場合は次のように対処してください。

- 1 「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選んで「OK」ボタンをクリックする
- 2 「スタート」ボタンをクリックして、「Windowsの終了」をクリックする
- 3 をクリックして「再起動」を選び、「OK」ボタンをクリックする
パソコンが再起動します。

Q スクリーンセーバー復帰時に保護エラーが表示された

A 以下の操作を行ってください

- 1 エラーメッセージ中の「閉じる」ボタンをクリックする
- 2 「アクティブ デスクトップの修復」メッセージが表示された場合は、「アクティブ デスクトップの復元」ボタンをクリックすると、画面が復元されます。
操作後画面上のアプリケーションが一部消失したら、「画面のプロパティ」の「Web」タブでアプリケーションを再設定してください。



MS-DOSプロンプトがアクティブのときにスタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させても画面が表示されない



【Alt】+【Tab】を押してタスクを切り替えれば、正常に動作ようになります

NXパッド



何も反応しない、または反応が鈍い

A

指先やNXパッドが汚れている

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

A

NXパッドの2カ所以上に同時に触れている

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。1カ所だけに触れるようにしてください。

A

NXパッドを使用しない設定になっている

キー入力しながらパッドで操作しようとしたとき

購入時の設定では、誤動作防止のため、キー入力時のパッド操作ができないようになっています。キー入力がおわってからNXパッドを操作するか、または次の手順で設定を変更してください。

1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 「タッピング」タブの「タイピング」の「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」のをクリックして にする

BIOSセットアップメニューの設定が正しくないとき

LaVie Cの場合

BIOSセットアップメニューの「詳細」の「NXパッド & PS/2マウス」を「両方」に設定してください。

LaVie Mの場合

BIOSセットアップメニューの「詳細」の「NXパッド」を「使用する」に設定してください。

LaVie Sの場合

BIOSセットアップメニューで「拡張セットアップ」の「NXパッド」を「使用する」に設定してください。



BIOSセットアップメニューの設定 『もっと知りたいパソコン』PART6の「BIOS
セットアップメニュー」

A パソコンの処理に時間がかかっている

ポインタが ⏸ になっているときは、プログラムの処理が行われているので、NXパッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。しばらく待ってもNXパッドの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。



強制終了をする このPARTの「異常のあるアプリケーションを終了させるには」
(p.40)

A 「マウスのプロパティ」で「ボタン設定」が変更されている

次の手順にしたがって設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
「マウスのプロパティ」が表示されます。
- 2 「ボタン」タブの「ボタン設定」の「左ボタン」「右ボタン」の設定を使い
やすいように変更する
必ずどれか1つに「クリック」を設定してください。
- 3 「OK」ボタンをクリックする

A ポインタの速度が遅くなっている

「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「動作」タブでポインタの速度を調整してください。



Q NXパッドやマウスの誤操作を防ぎたい



別売のマウス使用時に、NXパッドからの入力を無効にする

別売のマウス使用時には、NXパッドの誤操作を防ぐため、NXパッドからの入力を無効にすることができます。

LaVie Cの場合

1 パソコンの電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押し続ける
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。



チェック

BIOSセットアップメニューが表示されない場合は、いったん電源を切り【F2】を押しながら電源を入れなおしてください。

3 【**↑**】を押して「詳細」を選ぶ

4 【**↓**】を押して「NXパッド&PS/2マウス」を選ぶ

5 【F5】または【F6】を押して次のように設定する

USBマウス使用時

「使用しない」に設定する

PS/2マウス使用時

「自動」に設定する

6 【**→**】を押して「終了」を選ぶ

7 【**→**】を押して「変更を保存して終了する」を選ぶ

8 【Enter】を押す

「設定の変更を保存して終了しますか？ はい いいえ」と表示されます。

9 「はい」を選び【Enter】を押す

自動的にパソコンが再起動します。

これで、マウス使用時のNXパッドの入力が無効になります。

LaVie Mの場合

1 パソコンの電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押し続ける
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。



チェック

BIOSセットアップメニューが表示されない場合は、いったん電源を切り【F2】を押しながら電源を入れなおしてください。

- 3【**↓**】を押して「詳細」を選ぶ
- 4【**↓**】を押して「NXパッド」を選ぶ
- 5【F5】または【F6】を押して「使用しない」に設定する
- 6【**↓**】を押して「終了」を選ぶ
- 7【**↓**】を押して「変更を保存して終了する」を選ぶ
- 8【Enter】を押す
「設定の変更を保存して終了しますか？ はい いいえ」と表示されます。
- 9「はい」を選び【Enter】を押す
自動的にパソコンが再起動します。
これで、マウス使用時のNXパッドの入力が無効になります。



チェック

別売のPS/2マウスを使用する場合は、別売のUSBポートパー(PK-UP012S/
PK-UP012NS)が必要です。

LaVie Sの場合

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押し続ける
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。



チェック

BIOSセットアップメニューが表示されない場合は、いったん電源を切り【F2】
を押しながら電源を入れなおしてください。

- 3【**↓**】を押して「拡張セットアップ」を選ぶ
- 4【Enter】を押す
- 5「NXパッド」の項目を「使用しない」に設定する
- 6【Esc】を押す
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 7【**↓**】を押して「変更を保存して終了」を選ぶか、【F10】を押す

8【Enter】を押す

「現在の状態を保存して設定を終了しますか? はい いいえ」と表示されます。

9「はい」を選び、【Enter】を押す

自動的にパソコンが再起動します。

これで、マウス使用時のNXパッドの入力が無効になります。

**チェック**

別売のPS/2マウスを使用する場合は、別売のUSBポートバー(PK-UP012S/ PK-UP012NS)が必要です。


キーボード



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

A

パソコンの処理に時間がかかっている

マウスポインタがになっているときは、プログラムの処理が行われているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。しばらく待ってもキーボードの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。



参照

強制終了をする このPARTの「異常のあるアプリケーションを終了させるには」(p.40)

A




キーボードの設定が正しくない



別売のキーボードを使う場合には、設定が必要です。次の方法でキーボードの設定を行ってください。



チェック

- ・この方法で設定すると別売のキーボードが使えますが、キーによっては使えなくなるものがあります。
- ・PS/2キーボードは使用できません。

- 1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックして「キーボード」の左のをクリックする
- 3 表示されたキーボード名をダブルクリックする
- 4 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックする
デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。
- 5 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」のをクリックしてにする



- 6 「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」の  をクリックして  にし、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「ディスク使用」ボタンをクリックし、キーボードのマニュアルなどに記載されているフォルダを指定して「OK」ボタンをクリックする
- 9 「次へ」ボタンをクリックする
これ以降は画面の指示にしたがって設定してください。



キーボードで押したキーと違う文字が表示される



キーがロックされている

キャップスロックキーランプ()またはニューメリックロックキーランプ()が点灯している場合は、【Caps Lock】や【Num Lock】がロックされています。キーのロック状態を確認してください。

キーのロック / 解除

【Caps Lock】のロックと解除

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押す

【Num Lock】のロックと解除

【Fn】を押しながら【F12】を押す(LaVie M)

【Num Lock】を押す(上記以外のモデル)



入力したいモードになっていない

日本語入力とアルファベット入力を切り替えたいときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角】を押します。



参照

日本語入力のモードについて 『もっと知りたいパソコン』PART1の「キーボード」

サウンド機能



光デジタルオーディオ出力からの音が鳴らない

A

オーディオ機器と正しく接続されていない


パソコンの光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子と、デジタルオーディオ機器の光デジタル入力端子が、市販のデジタルケーブルで正しく接続されているか確認してください。

A

光デジタルオーディオ出力が使えない設定になっている

次の手順で光デジタル出力を使えるように設定してください。

LaVie C/LaVie Mの場合


- 1 インジケータ領域(タスクトレイ)の「音量」アイコン()をダブルクリックする
「Volume Control」ウィンドウが表示されます。
- 2 「オプション」メニューから、「トーン調整」を選択する
- 3 「Volume Control」欄の下にある「トーン」ボタンをクリックする
「Volume Controlの詳細設定」ウィンドウが表示されます。
- 4 「Enable S/PDIF(1)」および「Enable MD S/PDIF(2)」のをクリックしてにし、「閉じる」ボタンをクリックする



参照

光デジタルオーディオの設定をする 『もっと知りたいパソコン』PART1の「サウンド機能」

LaVie Sの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き、「ヤマハ DS-XG設定」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デジタル出力」タブをクリックする
- 3 「OFF」以外のいずれかをにする

4 「OK」ボタンをクリックする



光デジタルオーディオの設定をする 『もっと知りたいパソコン』PART1の「サウンド機能」

A

オーディオ機器のサンプリングレートがこのパソコンに対応していない
このパソコンの光デジタルオーディオ出力のサンプリングレートは48kHzで
す。接続先のオーディオ機器が48kHzのサンプリングレート入力に対応して
いるか確認してください。

周辺機器



周辺機器を取り付けたらパソコンが正常に動かなくなった



周辺機器のドライバが原因でパソコンが起動しなくなっている

セーフモードでWindows Meを起動してドライバを設定してください。

- 1 セーフモードでパソコンを起動する(p.30)
- 2 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 4 追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックする
「周辺機器のプロパティ」が表示されます。
- 5 「全般」タブをクリックする
- 6 「すべてのハードウェア プロファイルで使用する」をにする
新しく取りつけた周辺機器のドライバが無効になります。
- 7 「OK」ボタンをクリックする
新しく取りつけた周辺機器のドライバが無効になり、通常モードでWindows Meが起動します。

この操作を行ってもパソコンが起動しないときは、パソコンの電源を切ってから新しく取りつけた周辺機器を取り外し、周辺機器のドライバを更新します。この場合、使いたい周辺機器の最新のドライバが必要です。



メモ

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateでも周辺機器のドライバを更新できることがあります。Windows Updateを利用するには「スタート」ボタンをクリックし、「Windows Update」をクリックしてください。

Windowsが起動したら、次のようにしてドライバを更新してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。

- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 3 追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックする
「周辺機器のプロパティ」が表示されます。
- 4 「ドライバ」タブをクリックする
- 5 「ドライバの更新」ボタンをクリックする
以降は画面の指示にしたがってください。

A

割り込みレベルの設定が正しくない

周辺機器の中には、使用する際、割り込みレベルやDMAチャンネルの設定が必要な場合があります。周辺機器の使用に必要な割り込みレベルがすでに使用済みの場合、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりすることがあります。割り込みレベルが重ならないよう、次の手順で設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
表示された割り込みを確認し、必要に応じて設定を変更してください。



参照

リソースの変更 『もっと知りたいパソコン』PART4の「周辺機器を接続する前に」

Q

別売の周辺機器を取り付けたが正しく動作しない

A

電源を入れる順序が正しくない

パソコンが起動してから周辺機器の電源を入れても、パソコン側で周辺機器が正しく認識されません。最初に周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れてください。



メモ

USBおよびIEEE1394対応の周辺機器は、パソコンが起動した後から電源を入れても正しく認識されません。

A

周辺機器がパソコンに正しく接続されていない。または、取り付けた周辺機器の設定が正しくない

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。周辺機器のマニュアルをご覧ください、設定を確認してください。

A

周辺機器が正常に動作していない

デバイスマネージャの周辺機器のところに赤い「×」や黄色い「！」や緑の「？」がついている場合、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。赤い「×」や黄色い「！」や緑の「？」がつかないように設定しなおしてください。



参照

周辺機器の設定 『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」

Q

新しい周辺機器を接続したときに「このデバイス用のソフトウェアが見つかりませんでした」と表示されてドライバのインストールができない

A

デバイスマネージャでドライバを更新する必要がある

次の手順でドライバを更新してください。

- 1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面で、「完了」ボタンをクリックする
- 2 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする
「システムのプロパティ」の画面が表示されます。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 4 「その他のデバイス」の左の \oplus をクリックする
- 5 該当するデバイス名をクリックする
- 6 「プロパティ」ボタンをクリックする
- 7 「ドライバ」タブをクリックする

- 8 「ドライバの更新」ボタンをクリックする
「デバイス ドライバの更新ウィザード」の画面が表示されます。
- 9 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択して、
「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「現在使用しているドライバより適したドライバを検索する(推奨)」が選
択されていることを確認し、「検索場所の指定」の をクリックして に
し、周辺機器のマニュアルなどに記載されているフォルダを指定する
- 11 「次へ」ボタンをクリックする
以降は画面の指示にしたがって、ドライバをインストールしてください。
詳細については、周辺機器のマニュアルを参照してください。



接続していないCD-ROMドライブが表示され、アクセスしようとするとエラーになる(LaVie Mの場合)



Virtual CD 2がインストールされている

このドライブはVirtual CD 2によって作成された仮想CD-ROMドライブです。
詳しくは、「添付ソフトの使い方」-「Virtual(バーチャル)CD 2」をご覧ください。



ドライブ名がおかしい



周辺機器を接続したまま、スタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしませんでしたか？

お使いの周辺機器によっては、スタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にするとCD-R/RW・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ名が変更される場合があります。
このような場合はパソコンを再起動してください。

アプリケーション

Q アプリケーションの動作が遅い、起動しない

A アプリケーションを起動するのに必要なメモリが足りない

複数のアプリケーションを同時に起動している場合
複数のアプリケーションを同時に起動していると、メモリが不足して新たなアプリケーションを起動できなくなることがあります。すでに複数のアプリケーションが起動しているときには、使わないアプリケーションを終了してから新しいアプリケーションを起動してください。それでもアプリケーションが起動しない場合は、パソコンを再起動してください。



参照
アプリケーションの終了方法 PART1の「トラブルの予防」の「リソースを確保する」(p.16)

ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合
ファイルサイズの大きい壁紙を使用していると、メモリが不足してアプリケーションを起動できなくなることがあります。お使いの壁紙のファイルのサイズを確認し、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。



参照
壁紙を変更する 「サポートセンタ」-「トラブル解決Q&A」-「画面」-「壁紙(背景)を変えたい」

A アプリケーションを使用するのに必要なリソースが足りない

複数のアプリケーションを同時に起動していると、リソースが不足してアプリケーションの動作が遅くなることがあります。リソースを確認し、リソースが不足している場合は、使わないアプリケーションを終了したり、常駐プログラムを終了してください。また、パソコン起動時に自動的に実行されているプログラムで、必要性が低いと思われるものを実行しないように設定してください。それでもアプリケーションの動作が遅い場合は、パソコンを再起動してください。




- 参照
- ・リソースを確認する / アプリケーションの終了方法 PART1の「トラブルの予防」の「リソースを確保する」(p.16)
 - ・起動時にプログラムを自動実行されないようにする PART1の「トラブルの予防」の「リソースを確保する」(p.16)



ワンタッチスタートボタンを押してもアプリケーションが起動しない

A

「ワンタッチスタートボタン」の設定が変更されている

インジケータ領域(タスクトレイ)の「ワンタッチスタートボタン」をダブルクリックし、表示されたユーティリティ画面で設定を確認してください。



参照

ワンタッチスタートボタンを設定する 「添付ソフトの使い方」-「ワンタッチスタートボタンの設定」

2

トラブル解決 Q & A

MS-DOS プロンプト



フルスクリーンになったMS-DOSプロンプトを元に戻したい



【Alt】+【Enter】を押すと元の画面サイズに戻ります



MS-DOSプロンプト画面で、Windows Meのスクリーンセーバーが起動した



次の手順で設定を変更すると、スクリーンセーバーが動作しないようになります

Windows Meのスクリーンセーバーを設定し、フルスクリーン表示のMS-DOSプロンプトでNXパッドなどのポインティングデバイスの操作のみを行っている場合、Windows Meのスクリーンセーバーが動作する場合があります。

1 【Alt】+【Enter】を押す

MS-DOSプロンプトの画面がフルスクリーン表示からウィンドウ表示に切り替わります。

2 【Alt】+【スペース】を押す

MS-DOSプロンプトのメニューが表示されます。

3 メニューから「プロパティ」を選択する

「MS-DOSプロンプトのプロパティ」画面が表示されます。

4 「その他」タブをクリックする

5 「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバーを使う」の をクリックして にする

6 「OK」ボタンをクリックする

7 【Alt】+【Enter】を押す

MS-DOSプロンプトの画面がウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替わります。

ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続しようとしたら(LAN内蔵モデルのみ)

Q ネットワークへの接続方法が分からない

LAN内蔵モデルをご使用の方は、『もっと知りたいパソコン』PART2の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。リンクケーブルを接続してください。また、必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。

Q ネットワークに接続できない

A 接続は正しくできていますか？

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとハブがリンクケーブルで正しく接続されているかを確かめてください。

A 設定が間違っていないですか？

プロトコルやドメインワークグループなどの設定が間違っているか、またはコンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

マイ ネットワークに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

マイ ネットワークに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

マイ ネットワークに自分のコンピュータしか表示されない

マイ ネットワークに表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンで調べることができます。

A

アダプタアドレス(MACアドレス)等の設定が間違っていないですか?

ネットワークを使用するには、このパソコンのアダプタアドレス(MACアドレス)が必要な場合があります。サーバー等の設定を確認してください。



参照

MACアドレスの調べかた(LaVie C/LaVie Mのみ) 『もっと知りたいパソコン』PART2の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」

Q

共有ドライブやフォルダが使えない

A

「Microsoftネットワーク共有サービス」は組み込まれていますか?

「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして表示される「ネットワーク」ウィンドウの「ネットワークの設定」タブをクリックして確認してください。

「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていない場合は、共有ファイルやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「ネットワークの設定」タブの「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックして設定すると使えるようになります。

A

お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていますか?

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

利用したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

A

共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されていますか?

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。

お客様が共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。他のユーザから読み取りはできますが、書き込みはできません。



【F12】を押してもネットワークブートができない



再度【F12】を押しながら電源を入れる

「NEC」のロゴ画面で【F12】を押し続けても、ネットワークブート処理にいかないことがあります。この場合、再度【F12】を押しながら電源を入れてください。

その他



インターネット / パソコン通信 / FAXが使えない



分岐アダプタを使用している

電話機を使用中の場合

分岐アダプタを使って1つの電話回線を電話機とパソコンの両方に接続している場合、電話機の使用中にはパソコンでは通信はできません。電話を切るとパソコンで通信できるようになります。

電話機を使用していない場合

分岐アダプタが壊れている可能性があります。分岐アダプタを取り外し、モジュラーコンセントとパソコンのモデムを直接接続してから再度通信してみてください。



スキャンディスクが中断される



ファイルに頻繁にアクセスするプログラムが実行されている

プリンタ監視ソフトなどの常駐ソフトが起動していると、常駐ソフトが頻繁にファイルにアクセスするため、このような現象が起こることがあります。このような場合には、スキャンディスクを実行する前にこれらの常駐ソフトを終了するか、削除してください。



Windows Meがインストールされているドライブに対し、完全チェックを実行した

Windows Meがインストールされているドライブに対して完全チェックを行うと、「Windowsまたはほかのプログラムがこのドライブに書き込み中であるため、再試行回数が10回に達しました。実行中のほかのプログラムを終了するとチェックが早くなります。今後もこの警告メッセージを表示しますか?」と表示され、スキャンディスクが中断される場合があります。このメッセージが表示された場合は、実行中のほかのアプリケーションを終了して、「はい」ボタンをクリックしてください。引き続きスキャンディスクが実行されます。

Q コンピュータウイルスが検出された

A すぐにウイルスを駆除し、被害を届け出てください

パソコンがウイルスに感染していることがわかったら、すぐにウイルスを駆除し、二次感染を防ぐようにしてください。



参照

ウイルスの感染予防と駆除 PART1の「トラブルの予防」の「コンピュータウイルスの侵入を防ぐ」(p.13 または「サポートセンター」の「トラブルの予防」の「コンピュータウイルスに感染しないために」)

Q 日付と時刻を確認したい

A 内蔵のカレンダー用電池が十分に充電されているかを確認してから設定してください

このパソコンの内蔵時計はカレンダー用電池で動いています。内蔵のカレンダー用電池の充電が不十分だと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。日付や時刻が合っていないと、保存したファイルの時間や、電子メールを送信した日付がおかしくなったりします。

このパソコンの購入直後や、パソコンを2ヶ月以上使っていなかったときなどには、パソコンの電源コードのプラグをACコンセントに差し込み、ACアダプタをパソコンに約40時間以上接続したままにしてカレンダー用電池を充電したあと、次の手順で日付と時刻を設定しなおしてください。

1 「コントロールパネル」を開き、「日付と時刻」アイコンをダブルクリックする

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
正しい日付と時刻を設定します。



2 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックする

「OK」ボタンをクリックせずに画面を閉じると、設定は変更されません。

上記の方法で日付や時刻を合わせても設定が合わなくなる場合は、内蔵の calendar 用電池の寿命が考えられます。『121wareガイドブック』をご覧の上、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。



インターネットエクスプローラを終了しても回線が切断されない



手動で切断する

ダイヤルアップネットワーク接続の場合、インターネットエクスプローラを終了しても、回線が接続されたままになることがあります。回線の切断が必要な場合は、インジケータ領域(タスクトレイ)の「ダイヤルアップネットワーク」アイコンを右クリックし、「切断」をクリックしてください。

3

再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときやシステムの構成を変えたいときなどには、パソコンを再セットアップしてください。再セットアップは、手順をよく確認してから行ってください。

再セットアップする前に

再セットアップをすると、壊れてしまったパソコンのシステムを復旧したり、システムの構成を変えたりすることができます。ただし、再セットアップの方法によっては購入後にハードディスクに保存したファイルはすべて消えてしまいます。時間もかかる作業なので、再セットアップが必要かどうかをよく確認してからはじめてください。



チェック

「データ保護再セットアップモード」で再セットアップを行った場合は、「バックアップ-NX」に登録されているアプリケーションやインターネット設定は保護されます。



メモ

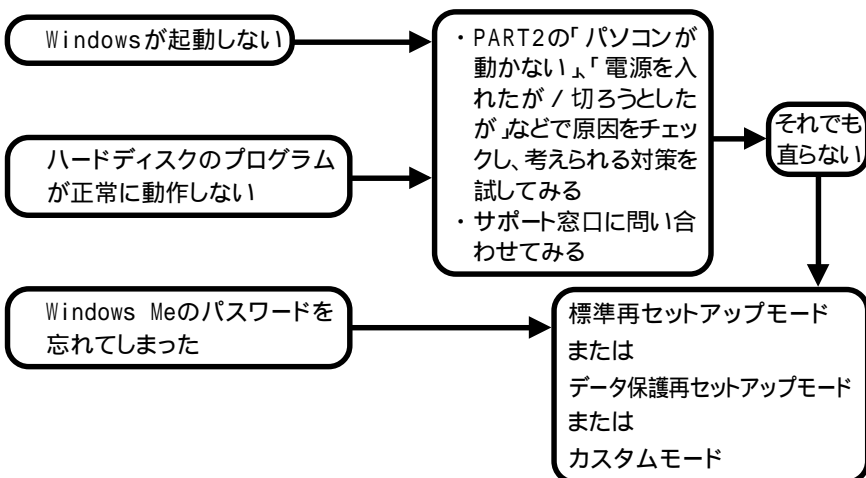
再セットアップ

添付の「バックアップCD-ROM」に入っているデータを使って、システムを購入時と同じ状態に戻す作業のことで、Windowsの再インストールも再セットアップに含まれます。(お使いのモデルによっては一部インストールが必要なアプリケーションがあります。詳しくは「再セットアップ時の注意」の「再セットアップ後にアプリケーションをインストールしなおす」(P.94)をご覧ください。)

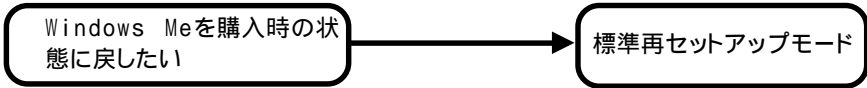
こんなときは再セットアップ

次のようなときには、パソコンの再セットアップが必要です。

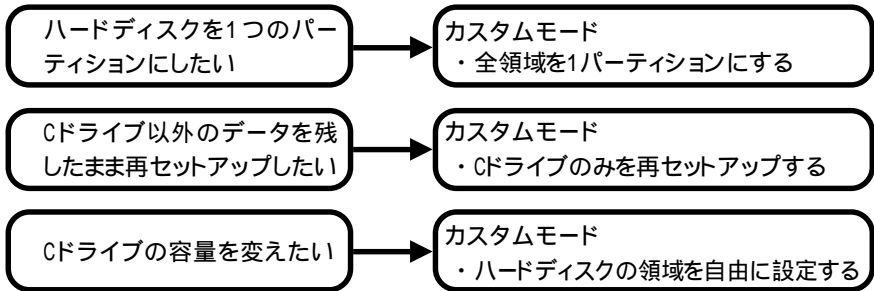
トラブルが起こったとき



パソコンをご購入時の状態に戻したいとき



ハードディスクの構成を変えたいとき



再セットアップの種類

再セットアップには、「標準再セットアップモード」、「データ保護再セットアップモード」、「カスタムモード」の3種類があります。

標準再セットアップモード

購入したときと同じ状態にする

ハードディスクの内容をパソコンを購入したときと同じ状態に戻します。

初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方には、この方法での再セットアップをおすすめします。

ただし、購入後にハードディスクに保存したファイルはすべて消えてしまいます。

データ保護再セットアップモード

「バックアップ-NX」に登録したアプリケーションのデータのみ残して再セットアップする

Windowsを起動できなくなってしまったときなど、バックアップ-NXに登録したアプリケーションのデータを可能なかぎり残して、再セットアップします。

自分が作成したデータを残しておきたい方は、この方法での再セットアップをおすすめします。

カスタムモード

ハードディスクの全領域を1パーティションにして再セットアップする

Dドライブを作成しないですべての領域をCドライブにして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。

Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップするときに、この方法で再セットアップします。Dドライブ以外のハードディスクのデータを残しておくことができます。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(ユーザ設定)

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Dドライブのハードディスク容量を変更したいときは、この方法で再セットアップします。

初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法では再セットアップしないでください。

再セットアップの準備をする

操作の流れ

再セットアップの前に、次の手順で準備をしてください。

1 データのバックアップをとる

2 パソコンの設定を控える

3 BIOSの設定を初期値に戻す

4 必要なものをそろえる

5 本体の準備をする

3

再
セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

データのバックアップをとる

「バックアップCD-ROM」で再セットアップできるのは、購入時から入っていたソフトウェアだけです。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。また、内蔵のハードディスクに保存されていたデータも消えてしまいます。パソコン購入後に作成した大切なデータは、必ずMOやフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

このパソコンには、データのバックアップと復元に便利な「バックアップ-NX」というアプリケーションがあります。「バックアップ-NX」を使うと、このパソコンに添付されているアプリケーションで作成したデータや、インターネット設定のバックアップが簡単に行えます。また、購入して追加したアプリケーションで作成したデータのバックアップをとることもできます。

「データ保護再セットアップモード」で再セットアップした場合、「バックアップ-NX」に登録してあるアプリケーションで作成したデータを残して再セットアップを行うことができます。

くわしくは、「データを保護して再セットアップする」(p.106)をご覧ください。



バックアップ-NXについて 「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

パソコンの使用環境の設定を控える

再セットアップすると、インターネットやBIOSセットアップメニューなどの設定は、すべて初期値に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

インターネットの設定を控える

再セットアップしても、インターネットのIDなどは有効です。必ず書き留めて、再セットアップ後に設定しなおしてください。インターネットの接続に必要な情報のうち、アクセスポイント以外の情報は会員証に記載されています。プロバイダの会員証があるときは、会員証を用意してください。プロバイダに入会したばかりでまだ会員証が手元に届いていないときには、『使っておぼえるパソコンの基本』の「付録 BIGLOBE入会案内」を参考にして、次の項目をメモしておいてください。

- ・ ユーザID
- ・ 仮パスワード、または正式パスワード
- ・ 電子メールアドレス
- ・ メールパスワード
- ・ プライマリDNS
- ・ セカンダリDNS
- ・ インターネットメールサーバ
- ・ ニュースサーバ
- ・ 設定したアクセスポイントの電話番号



メモ

「バックアップ-NX」を使うと、インターネットに関する情報のバックアップをとることができます。詳しくは、「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」をご覧ください。

なお、受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップを行うと消えてしまいます。これらのデータをとっておきたい場合には、メールやURLファイルのバックアップをとっておいてください。

BIOSセットアップメニューの設定を控える

BIOSセットアップメニューを起動して、現在の設定を控えてください。



再セットアップしても、パスワードの設定は有効です。

BIOSの設定を初期値に戻す

LaVie C/LaVie Mをお使いの場合



- ・ BIOSの設定を初期値に戻しても、パスワードの設定は解除されません。
- ・ PCカードをセットしているときは、取りはずしてから以下の操作を行ってください。

1 パソコンの電源を入れる

「NEC」のロゴが表示されます。

2 「NECのロゴ」が表示されたらすぐに【F2】を押し続ける

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。



表示されない場合は、いったん電源を切り、【F2】を押しながら電源を入れなおしてください。

3 【F9】を押す

「デフォルト値をロードしますか?」と表示されます。

4 「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す

5 【F10】を押す

「設定の変更を保存して終了しますか?」と表示されます。

6 「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す

これでBIOSの設定が初期値に戻りました。

LaVie Sをお使いの場合



- ・ BIOSの設定を初期値に戻しても、パスワードの設定は解除されません。
- ・ PCカードをセットしているときは、取りはずしてから以下の操作を行ってください。

- 1 パソコンの電源を入れる
「NEC」のロゴが表示されます。
- 2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押し続ける
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。



チェック

表示されない場合は、いったん電源を切り、【F2】を押しながら電源を入れなおしてください。

- 3 【**↑**】を押して「デフォルト値をロード」を選ぶ
- 4 【Enter】を押す
「すべての設定項目にデフォルト値を書き込みますか? はい いいえ」と表示されます。
- 5 「はい」を選ぶ
- 6 【Enter】を押す
- 7 【**↓**】を押して「変更を保存して終了」を選んで【Enter】を押すか【F10】を押す
「現在の状態を保存して設定を終了しますか? はい いいえ」と表示されます。
- 8 「はい」を選ぶ
- 9 【Enter】を押す
これでBIOSの設定が初期値に戻りました。

必要なものをそろえる

再セットアップの作業に入る前に、このパソコンに添付されている次のCD-ROM、フロッピーディスク、マニュアルを準備してください。

- ・「バックアップCD-ROM」
- ・「システムインストールディスク（LaVie C/LaVie Sのみ）」
- ・「Office XP Personal」CD-ROM（Office XPモデルのみ）」
- ・『もっと知りたいパソコン』



メモ

- ・モデルによっては、添付されているフロッピーディスクの枚数が異なります。添付されているすべてのフロッピーディスクを用意してください(LaVie Mの場合はシステムインストールディスクは添付されていません)
- ・パソコン購入後に自分でインストールしたアプリケーションを再セットアップ後にも使いたい場合は、そのアプリケーションのインストール用のディスクを準備してください。

LaVie Sをお使いの場合

マルチベイに取り付けてあるTVチューナパックを取りはずし、フロッピーディスクドライブを取り付けておいてください。

これ以降の本文中では、本文中の「CD-ROMドライブ」の部分で「CD-R/RWドライブ」または「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。

本体の準備をする

パソコンの電源を切る

スタンバイ状態(サスPEND)や休止状態(ハイバネーション)になっている場合には、一度データをバックアップし、電源を切ってください。

CD-ROMドライブを取り付ける

CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルをお使いの場合は、パソコンにCD-ROMドライブを取り付け、CD-ROMを使えるようにしておいてください。

周辺機器を取り外す

CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外してください。

ACアダプタを接続する

バッテリー駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

再セットアップ時の注意



メモ

再セットアップの途中で警告音が鳴る場合がありますが、故障ではありません。

手順どおりに行う

必ずマニュアルの手順どおりに操作してください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップすることができません。

途中でやめない

再セットアップは途中でやめないでください。途中でやめてしまったときは、もう一度最初からやり直してください。

再セットアップ後にアプリケーションをインストールしなおす

パソコン購入後にインストールした別売のアプリケーションや添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしたアプリケーションは再セットアップ後には消去されています。インストールしなおしてください。

購入したときと同じ状態にする (標準再セットアップモード)

操作の流れ

1 システムを再セットアップする

2 Windows Meの設定をする

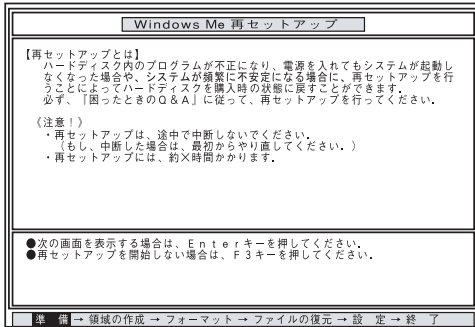
3 アプリケーションを再セットアップする
Office XPモデルの場合は、「Office XP Personal」を再セットアップする

4 各種の設定をする

1 システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れる

- 2 電源ランプ(④)が点灯したら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブ(LaVie Mの場合は、「バックアップCD-ROM(起動用)」をCD-ROMドライブ)にセットする
次の画面が表示されます。



メモ

- ・「システムインストールディスク(起動用)」(LaVie Mの場合は「バックアップCD-ROM(起動用)」)のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクやCD-ROMをドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。
- ・「Invalid system disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットしなおして、【Enter】などのキーを押してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「再セットアップとは」の画面で確認して下さい。

LaVie Mをお使いの場合は、このあと手順4に進んでください。

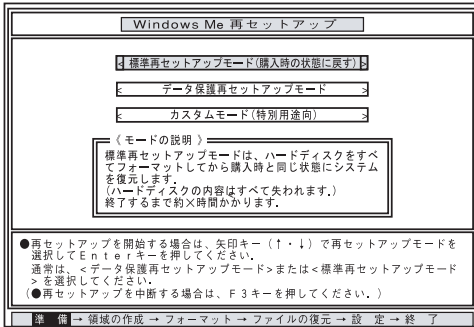
3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

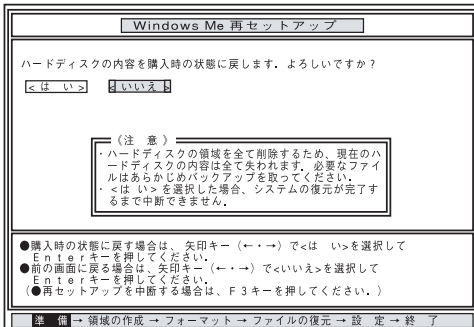
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5【Enter】を押す

次の画面が表示されます。



- 6「標準再セットアップモード(購入時の状態に戻す)」が黄色になっていることを確認して【Enter】を押す
次の画面が表示されます。



- 7【Enter】を押して「はい」を黄色にする

8【Enter】を押す

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップがはじまります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるようメッセージが表示されたら、指示にしたがってフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えてください。
ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。



チェック

「終了しました」の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。はじめからやり直してください。

LaVie Mをお使いの場合は、このあと手順10に進んでください。

- 9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す
- 10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す
このあとは、お使いの機種によって手順が異なります。
LaVie C/LaVie Mの場合は、「LaVie C/LaVie Mをお使いの場合」へ、LaVie S
の場合は、「LaVie Sをお使いの場合」へ進んでください。

LaVie C/LaVie Mをお使いの場合

11 【Enter】を押す

システムが再起動します。しばらくの間、新しいハードウェアの検出が行われたあと、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。
このあと「2 Windows Meの設定をする」(p.99)へ進んでください。

LaVie Sをお使いの場合

11 電源スイッチを数秒間押す

パソコンの電源が切れます。

12 フロッピーディスクドライブを取り外し、TVチューナパックを取り付ける



参照

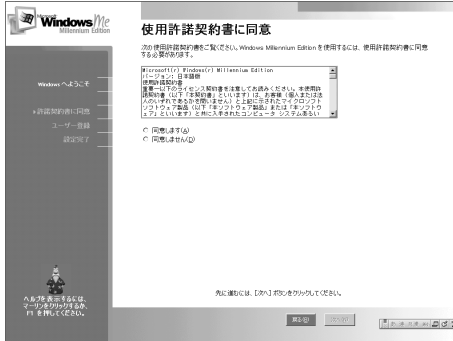
『もっと知りたいパソコン』PART1の「フロッピーディスクドライブ」

13 パソコンの電源を入れる

システムが起動します。
しばらくの間、新しいハードウェアの検出が行われたあと、「Microsoft Windows
へようこそ」の画面が表示されます。
このあと「2 Windows Meの設定をする」(p.99)へ進んでください。

2 Windows Meの設定をする

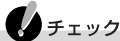
- 1 「次へ」ボタンをクリックする
次の画面が表示されます。



- 2 「使用許諾契約書」の内容を確認する

▼(スクロールボタン)をクリックする、または【PgDn】機種によっては【Fn】+【PgDn】を押すと続きを読むことができます。


- 3 「同意します」をクリックして  にし、「次へ」ボタンをクリックする

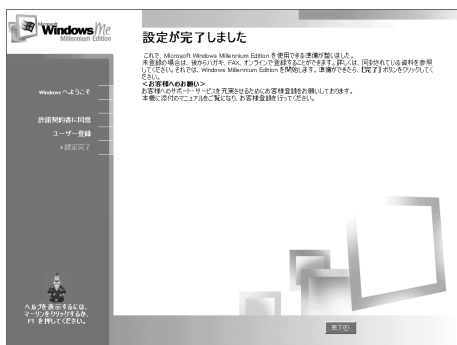


- ・ 「同意しません」をクリックすると、Windows Meを使うことはできません。「戻る」ボタンをクリックして、「同意します」をクリックしてください。
- ・ 「同意しません」をクリックして「終了」ボタンをクリックした場合、自動的に電源が切れます。もう一度電源を入れると、手順1の画面が表示されます。

次の画面が表示されます。





- 4 「いいえ、今は登録しません」をクリックして  にし、「次へ」ボタンをクリックする
次の画面が表示されます。



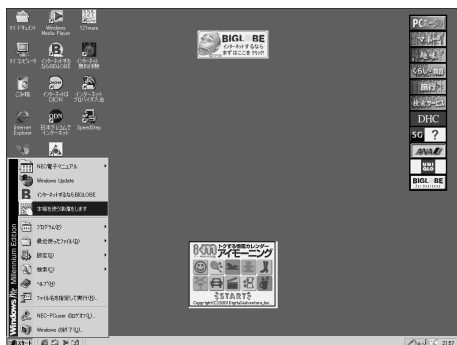
- 5 「完了」ボタンをクリックする
しばらくの間、新しいハードウェアの設定が行われたあと、Windows Me のデスクトップ画面が表示されます。



チェック

パソコンの処理が行われている間は、画面に  が表示されたり、アクセラランプ  が点灯します。
この間は、キーを押したりクリックしないようにしてください。

- 6 「スタート」ボタン 「本機を使う準備をします」をクリックする



モデルにより画面が異なります。

「本機を使う準備をしています。」と表示されたあと、次の画面が表示されます。



モデルにより画面が異なります。

7 「OK」ボタンをクリックする

パソコンが自動的に再起動し、Windows Meのデスクトップ画面が表示されます。

なお、お客様登録がお済みの場合などで、「NECオンラインお客様登録」アイコンを削除する場合は、次の手順を行ってください。

「NECオンラインお客様登録」アイコンを削除する

- 1 デスクトップ画面の「NECオンラインお客様登録」アイコンの「登録」をクリックする
- 2 「NECオンラインお客様登録」画面の下の方にある「既にお客様登録がお済みの方(本ソフトウェアとデスクトップ上のアイコンは削除されます)」の をクリックして にして、「次へ」ボタンをクリックする
- 3 アイコンと本ソフトウェア削除を確認するメッセージが表示されたら「完了」ボタンをクリックする



チェック

もう一度「NECオンラインお客様登録」アイコンを表示するには、再セットアップを行う必要があります。

以降は、ご使用のモデルにより手順が異なります

- ・ Office XPモデル 「Office XPモデルの再セットアップ」(p.102)へ
- ・ 上記以外のモデル 「各種の設定をする」(p.105)へ

3 アプリケーションを再セットアップする

Office XPモデルの再セットアップ

ここでの作業は、Office XPモデルにのみ必要な作業です。



メモ

Office XP Personalを再セットアップした場合、「スタート」メニューに登録される場所は購入時と異なります。
「Office XP Personal」を削除したり、このパソコンを再セットアップした場合、「Office XP Personal」を再追加すると、「Office XP Personal」のアプリケーション(WordやExcelなど)を最初に起動したときに、「Microsoft Office XP Personal ライセンス認証ウィザード」のウィンドウが表示されます。この場合は、「Office XP Personal」に添付のOffice XPのセットアップガイドをご覧ください、ライセンス認証を行ってください。

Office XP Personalを再セットアップする

1 「Office XP Personal」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

自動的にセットアッププログラムが起動して、しばらくすると次の画面が表示されます(画面に表示されない場合は、「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックし、「CD-ROM」アイコンをダブルクリックしてください)。

Microsoft Office XP セットアップ

Microsoft Office XP Personal

ユーザー情報

ユーザー名(U):

顔文字(F):

所属(O):






下のボックスに、25 文字のプロダクト キー番号を入力してください。この番号は CD-ROM ケースの裏側に貼られた黄色のシールに記載されています。













プロダクト キー(K): - - -

ヘルプ(H) < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 2 「ユーザー情報(ユーザ名、頭文字、所属、プロダクトキー)」を入力する
ユーザ名やその他の項目は省略することができます。
なお、プロダクトキー(「Office XP Personal 添付品」に記載されています)をこ
こで入力する、Office XP アプリケーションを最初に起動したときのプロダクトキー
の入力作業が必要なくなります。
- 3 「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書の画面が表示されます。
- 4 画面の内容を良く読み、「使用許諾契約書」の条項に同意します」にチェッ
クして、「次へ」ボタンをクリックする
インストールの種類を指定する画面が表示されます。
- 5 「カスタム」の をクリックして にし、「次へ」ボタンをクリックする
インストールするアプリケーションを指定する画面が表示されます。
- 6 「アプリケーションごとにオプションを指定してインストールします」の を
クリックして にし、「次へ」ボタンをクリックする
次の画面が表示されます。



- 7  (Microsoft Office) をクリックし、表示されるメニューから「マイ コン
ピュータからすべて実行」をクリックする
灰色で表示されたアイコンがないことを確認してください。
- 8 「Microsoft Excel for Windows」-「読み上げ」の  をクリックし、表示
されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (読み上げ) が  に変わります。

- 9 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「音声」の  をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (音声) が  に変わります。
- 10 「Office 共有機能」-「入力システムの拡張」-「IME」-「IME パッド アプレット」-「音声アプレット」の  をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (音声アプレット) が  に変わります。
- 11 「Office ツール」-「高速検索のサポート」の  をクリックし、表示されるメニューから「インストールしない」をクリックする
 をクリックすると下の階層が表示されます。
実行すると、 (高速検索のサポート) が  に変わります。
- 12 「次へ」ボタンをクリックする
インストール内容の確認画面が表示されます。
- 13 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まり、自動的に設定が行われます。しばらくお待ちください。
インストールが終了すると、再起動をうながすメッセージが表示されます。
- 14 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 15 CD-ROMドライブから「Office XP Personal」CD-ROMを取り出す

次に「4 各種の設定をする」(p.105)に進んでください。
「ハードディスクの領域を自由に設定する(カスタムモード)」(p.120)で領域を5つ以上作成している場合は、「7 ハードディスクを5つ以上に分割した場合」(p.137)を行ったあと、「4 各種の設定をする」(p.105)に進んでください。

4 各種の設定をする

機器を取り付けて設定する

再セットアップ前に取り外した周辺機器を元どおりに取り付け、機器の設定を行ってください。



参照

周辺機器を設定する 『もっと知りたいパソコン』の「PART4 周辺機器を使う」

パソコンの設定を元に戻す

購入後に設定した内容は「データ保護再セットアップ」で保護されたデータ以外は、すべて購入時の状態に戻っています。インターネットやBIOSなどのパソコンの設定をお使いの環境に合わせて設定し直してください。



メモ

- ・再セットアップ前にユーザパスワードやスーパーバイザパスワードが設定されていた場合は、その設定が引き続き有効になっています。新たに設定しなおす必要はありません。
- ・プロバイダに加入している場合、すでに取得しているIDやパスワードをそのまま使うことができます。新たにサインアップをやり直す必要はありません。

アプリケーションをインストールしなおす

パソコン購入後にインストールした別売のアプリケーションや添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしたアプリケーションは再セットアップ後には消去されています。インストールしなおしてください。

データを保護して再セットアップする (データ保護再セットアップモード)

操作の流れ

1 保護したいデータのアプリケーションをバックアップ-NXで設定する

2 システムを再セットアップする

3 Windows Meの設定をする

4 アプリケーションを再セットアップする
Office XPモデルの場合は「Office XP Personal」を再セットアップする

5 各種の設定をする

必ずお読み下さい

- 1) 「データ保護再セットアップモード」で保護できるデータは、「バックアップ-NX」に登録されている「アプリケーション」で作成したデータのみです。自分で作成したデータファイルを可能なかぎりバックアップして再セットアップしますが、データの保護を保証するものではありません。ご購入時の状態で「バックアップ-NX」に登録されているアプリケーションについては「バックアップ-NXを使う」(p.10)の「バックアップできるアプリケーション」をご覧ください。
- 2) 「バックアップ-NX」では他に「インターネット設定」のバックアップ(「バックアップできるインターネット設定」(p.11)を参照)ができますが、再セットアップ時は設定は保護されません。
- 3) 「バックアップ-NX」に登録されているアプリケーションでも、「アプリケーションの設定」等は保護されません。再セットアップ後に再度設定し直す必要があります。
- 4) その他、パソコン購入後に自分でインストールしたアプリケーションのデータをバックアップしたい場合は、「バックアップ-NX」にあらかじめ登録しておく必要があります。
- 5) 再セットアップの途中で「再セットアップが正常に終了できませんでした」の画面が表示された場合は、次の手順に従って操作を行ってください。

「CDドライブに十分な空き容量が無いため、データ保護再セットアップが完了していません。」と表示された場合

- 1 フロッピーディスクやCD-ROMを取り出した後に電源を切り、再度電源を入れなおす
システムが起動し「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。
- 2 「2 Windows Meの設定をする(p.99)」の手順7まで行う
- 3 Windowsが起動したら「スタート」「プログラム」「アプリケーション」
「バックアップ-NX」をクリックする
- 4 バックアップ-NXでCDドライブ以外にデータをバックアップする
- 5 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「終了」を選択し「OK」ボタンをクリックする
- 6 「CDドライブのみを再セットアップする(カスタムモード)」(p.116)を行う
- 7 「Windows Meの設定をする」の手順終了後、「バックアップ-NX」を使ってデータを復元する

「CDドライブに十分な空き容量が無いため、データ保護再セットアップができません。」と表示された場合。

このメッセージが表示された場合は、データを保護することはできません。

【Enter】を押して再セットアップモード画面に戻り、標準再セットアップモードまたはカスタムモードを選択し、再セットアップを行ってください。

「保護するデータを設定したファイルが無いが、無効なため、データ保護再セットアップモードができません。」と表示された場合

- 1 フロッピーディスクやCD-ROMを取り出した後に電源を切り、再度電源を入れなおす

Windowsが起動します。

起動しなかった場合は、データを保護することはできません。【Enter】を押して再セットアップモード画面に戻り、標準再セットアップモードまたはカスタムモードを選択し、再セットアップを行ってください。

- 2 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アプリケーション」 「バックアップ-NX」をクリックする

- 3 バックアップ-NXでCDドライブ以外にデータをバックアップする

- 4 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」で「終了」を選択し「OK」ボタンをクリックする

- 5 「CDドライブのみを再セットアップする(カスタムモード) (p.116)を行う

- 6 「Windows Meの設定をする」の手順終了後、「バックアップ-NX」を使ってデータを復元する



参照

「バックアップ-NX」へのアプリケーションの登録 「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」の「アプリケーションの登録」

1 システムを再セットアップする

- 1 パソコンの電源を入れる

- 2 電源ランプ(①)が点灯したら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブ(LaVie Mの場合は、「バックアップCD-ROM(起動用)」をCD-ROMドライブ)にセットする
「再セットアップとは」の画面が表示されます。



- ・「システムインストールディスク(起動用)」(LaVie Mの場合は「バックアップCD-ROM(起動用)」)のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されないときは、フロッピーディスクやCD-ROMをドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。
- ・「Invalid system disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットなおして、【Enter】などのキーを押してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルにより異なります。「再セットアップとは」の画面で確認して下さい。

LaVie Mをお使いの場合は、このあと手順4に進んでください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

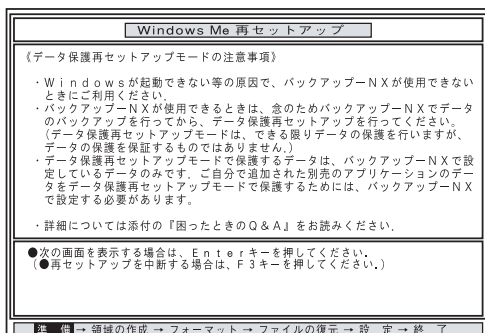
5 【Enter】を押す

再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

6 【】を1回押して「データ保護再セットアップモード」が黄色になったら

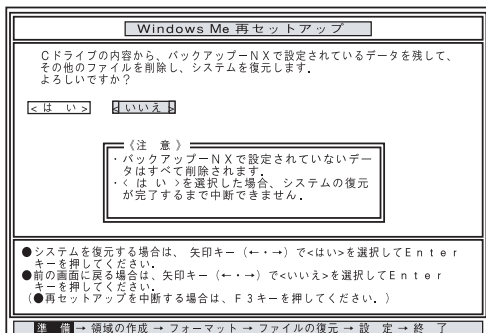
【Enter】を押す

次の画面が表示されます。



7【Enter】を押す

次の画面が表示されます。



8【 】を押して「はい」を黄色にする

9【Enter】を押す

CDドライブの内容から、バックアップ-NXに登録されているデータを保護して、その他のファイルを削除後に、システムの再セットアップがはじまります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるようメッセージが表示されたら、指示にしたがってフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えてください。システムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。

チェック

「終了しました」の画面が表示されず、「再セットアップが正常に終了できませんでした」の画面が表示された場合は、「必ずお読みください」(p.107)の5)の手順を行ってください。

参照

「バックアップ-NX」の使い方 「添付ソフトの使い方」-「バックアップ-NX」

LaVie Mをお使いの場合は、このあと手順11に進んでください。

10 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

11 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

このあとは、お使いの機種によって手順が異なります。

LaVie C/LaVie Mの場合は、「LaVie C/LaVie Mをお使いの場合」へ、LaVie Sの場合は、「LaVie Sをお使いの場合」へ進んでください。

LaVie C/LaVie Mをお使いの場合

12 【Enter】を押す

システムが再起動します。しばらくの間、新しいハードウェアの検出が行われたあと、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。
このあと「2 Windows Meの設定をする」へ進んでください。

LaVie Sをお使いの場合

12 電源スイッチを数秒間押す

パソコンの電源が切れます。

13 フロッピーディスクドライブを取り外し、TVチューナパックを取り付ける



『もっと知りたいパソコン』PART1の「フロッピーディスクドライブ」

14 パソコンの電源を入れる

システムが起動します。
しばらくの間、新しいハードウェアの検出が行われたあと、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。
このあと「2 Windows Meの設定をする」へ進んでください。

2 Windows Meの設定をする

p. 99の手順にしたがってWindows Meの設定をしてください。

3 アプリケーションを再セットアップする

Office XPモデルの場合は、p. 102の手順にしたがって「Office XP Personal」を再セットアップしてください。

4 各種の設定をする

p. 105の手順にしたがって設定をしてください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする(カスタムモード)

操作の流れ

1 システムを再セットアップする

2 Windows Meの設定をする

3 アプリケーションを再セットアップする
Office XPモデルの場合、「Office XP Personal」を再セットアップする

4 各種の設定をする

1 システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れる

2 電源ランプ(①)が点灯したら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブ(LaVie Mの場合は、「バックアップ CD-ROM(起動用)」をCD-ROMドライブ)にセットする
「再セットアップとは」の画面が表示されます。



メモ

- ・「システムインストールディスク(起動用)」(LaVie Mの場合は「バックアップCD-ROM(起動用)」)のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクやCD-ROMをドライブから取り出し、電源を切ってから、もう一度手順1からやり直してください。
- ・「Invalid system disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。
「システムインストールディスク(起動用)」をセットしなおして、【Enter】などのキーを押してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「再セットアップとは」の画面で確認してください。

LaVie Mをお使いの場合は、このあと手順4に進んでください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す

再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

6 【 】を2回押して、「カスタムモード(特別用途向)」が黄色になったら

【Enter】を押す

カスタムモードの種類を選ぶ画面が表示されます。



メモ

カスタムモードでの再セットアップを中断して標準再セットアップを行うときは、【F3】を押し、画面のメッセージにしたがって最初からやり直してください。

7 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」が黄色になっていることを確認し、そのまま【Enter】を押す

「ハードディスクの領域を下記の様に設定し、システムを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

8 【 】を1回押して、「はい」が黄色になったら【Enter】を押す

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップがはじまります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるようメッセージが表示されたら、指示にしたがってフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えてください。システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。



チェック

「終了しました」の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。

LaVie Mをお使いの場合は、このあと手順10に進んでください。

- 9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す
- 10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す
このあとは、お使いの機種によって手順が異なります。
LaVie C/LaVie Mの場合は、「LaVie C/LaVie Mをお使いの場合」へ、LaVie Sの場合は、「LaVie Sをお使いの場合」へ進んでください。

LaVie C/LaVie Mをお使いの場合

11 【Enter】を押す

システムが再起動します。しばらくの間、新しいハードウェアの検出が行われたあと、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。
このあと「2 Windows Meの設定をする」へ進んでください。

LaVie Sをお使いの場合

11 電源スイッチを数秒間押す

パソコンの電源が切れます。

12 フロッピーディスクドライブを取り外し、TVチューナパックを取り付ける



参照

『もっと知りたいパソコン』PART1の「フロッピーディスクドライブ」

13 パソコンの電源を入れる

システムが起動します。

しばらくの間、新しいハードウェアの検出が行われたあと、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。
このあと「2 Windows Meの設定をする」へ進んでください。

2 Windows Meの設定をする

p.99の手順にしたがってWindows Meの設定をしてください。

3 アプリケーションを再セットアップする

Office XPモデルの場合は、p.102の手順にしたがって「Office XP Personal」を再セットアップしてください。

4 各種の設定をする

p.105の手順にしたがって設定をしてください。

Cドライブのみを再セットアップする (カスタムモード)

操作の流れ

1 システムを再セットアップする

2 Windows Meの設定をする

3 アプリケーションを再セットアップする
Office XPモデルの場合、「Office XP Personal」を再セットアップする

4 各種の設定をする

❗ チェック

Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションの再インストールが必要な場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションをインストールしなおしてください。

1 システムを再セットアップする

1 パソコンの電源を入れる

- 2 電源ランプ(④)が点灯したら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブ(LaVie Mの場合は、「バックアップCD-ROM(起動用)」をCD-ROMドライブ)にセットする
「再セットアップとは」の画面が表示されます。



- ・「システムインストールディスク(起動用)」(LaVie Mの場合は「バックアップCD-ROM(起動用)」)のセットが遅いと、この画面が表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクやCD-ROMをドライブから取り出し、電源を切ってから、もう一度手順1からやり直してください。
- ・「Invalid system disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。
「システムインストールディスク(起動用)」をセットしなおして、【Enter】などのキーを押してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「再セットアップとは」の画面で確認してください。

LaVie Mをお使いの場合は、このあと手順4に進んでください。

- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
- 4 【Enter】を押す
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 5 【Enter】を押す
再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。
- 6 【】を2回押して、「カスタムモード(特別用途向)」が黄色になったら【Enter】を押す
カスタムモードの種類を選ぶ画面が表示されます。



カスタムモードでの再セットアップを中断して標準再セットアップを行うときは、【F3】を押し、画面のメッセージにしたがって最初からやり直してください。

- 7 【】を1回押して、「Cドライブのみ再セットアップ」が黄色になったら【Enter】を押す
「Cドライブの内容を消去し、システムを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。
- 8 【】を1回押して、「はい」が黄色になったら【Enter】を押す
ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップがはじまります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるようメッセージが表示されたら、指示にしたがってフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えてください。

システムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。



チェック

「終了しました」の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。

LaVie Mをお使いの場合は、このあと手順10に進んでください。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

このあとは、お使いの機種によって手順が異なります。

LaVie C/LaVie Mの場合は、「LaVie C/LaVie Mをお使いの場合」へ、LaVie Sの場合は、「LaVie Sをお使いの場合」へ進んでください。

LaVie C/LaVie Mをお使いの場合

11 【Enter】を押す

システムが再起動します。しばらくの間、新しいハードウェアの検出が行われたあと、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。
このあと「2 Windows Meの設定をする」へ進んでください。

LaVie Sをお使いの場合

11 電源スイッチを数秒間押す

パソコンの電源が切れます。

12 フロッピーディスクドライブを取り外し、TVチューナパックを取り付ける



参照

『もっと知りたいパソコン』PART1の「フロッピーディスクドライブ」

13 パソコンの電源を入れる

システムが起動します。

しばらくの間、新しいハードウェアの検出が行われたあと、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。
このあと「2 Windows Meの設定をする」へ進んでください。

2 Windows Meの設定をする

p.99の手順にしたがってWindows Meの設定をしてください。

3 アプリケーションを再セットアップする

Office XPモデルの場合は、p.102の手順にしたがって「Office XP Personal」を再セットアップしてください。

4 各種の設定をする

p.105の手順にしたがって設定をしてください。

3

再
セ
ッ
ト
ア
ッ
プ

ハードディスクの領域を自由に設定する (カスタムモード)

操作の流れ

1 領域を削除する

論理MS-DOSドライブを削除する
拡張MS-DOS領域を削除する
基本MS-DOS領域を削除する

2 新しい領域を作成する

基本MS-DOS領域を作成する
拡張MS-DOS領域を作成する
論理MS-DOSドライブを作成する

3 ドライブを初期化(フォーマット)する

4 システムを再セットアップする

5 Windows Meの設定をする

6 アプリケーションを再セットアップする

Office XPモデルの場合、「Office XP Personal」を再セットアップする

7 ハードディスクを5つ以上に分割した場合

8 各種の設定をする

基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域

カスタムモードでは、カスタムモードの画面からFDISKというコマンドを実行して、まずハードディスクの領域を削除し、あらたに領域を作り直します。

ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに、拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに分けます。このうち、基本MS-DOS領域がCドライブ(Windows Meを起動するドライブ)になり、論理MS-DOSドライブがDドライブ以降のドライブになります。



メモ

・基本MS-DOS領域

システムを起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows Meをインストールします。1つのハードディスクに1つしか作成できません。

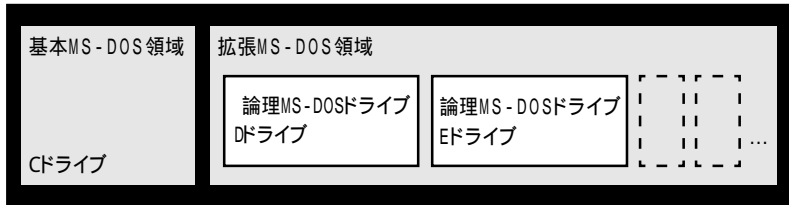
・拡張MS-DOS領域

基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここからシステムを起動することはできません。1つのハードディスクに1つしか作成できません。この中に論理MS-DOSドライブ(Dドライブ以降のドライブ)を割り当てます。

・論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作ります。Dドライブ以降の複数のドライブを作成することができます。

ハードディスクの領域



領域を削除するときは、論理MS-DOSドライブ 拡張MS-DOS領域 基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域を作成するときは、基本MS-DOS領域 拡張MS-DOS領域 論理MS-DOSドライブの順に作成してください。

領域を作成したあと、カスタムモードの画面からFORMATコマンドを実行し、それぞれのドライブをフォーマットします。



メモ

ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。「マイコンピュータ」でハードディスクのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字に入力しなおすが、ボリュームラベルを削除してください。

ハードディスクの容量について

このパソコンは、購入時、ハードディスク全容量の75%がCドライブ、残りの25%がDドライブに割り当てられており、次のように領域が作成されています。

例)ハードディスクの全容量が「20Gバイト」の場合

Cドライブ...約15Gバイト(FAT32)

Dドライブ...約5Gバイト(FAT32)

Windows Meのシステムやアプリケーションは、Cドライブにインストールされ、Cドライブの領域のうち「4,096Mバイト + このパソコンに搭載されているメモリ容量」分必要になります。このパソコンでは、領域のサイズを指定するときには、「4,096Mバイト + このパソコンに搭載されているメモリ容量」よりも大きい値を指定してください。



メモ

- ・ハードディスクの管理方法には、FAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステムの2種類があります。
Windows Meではどちらでも利用できますが、FAT16ファイルシステムのハードディスクの最大領域は2,047Mバイトまでですので、このパソコンでは、基本MS-DOS領域をFAT16にしてご購入時の状態に再セットアップすることはできません。
- ・実際に領域確保されるサイズが、入力した値よりも数Mバイト大きく表示される場合があります。例えば、FAT16で領域確保するとき「2,047Mバイト」と入力すると、実際に領域確保されるサイズが「2,052Mバイト」などの値になり、FAT16では領域確保できない場合があります。その場合には、2,045Mバイトなど2,047Mバイトより小さい値を入力してください。
- ・Cドライブ以外のドライブに「Office XP Personal」をインストールした場合は、ランチ-NXに自動登録されません。ランチ-NXに登録する場合は、「添付ソフトの使い方」-「ランチ-NX」をご覧ください。



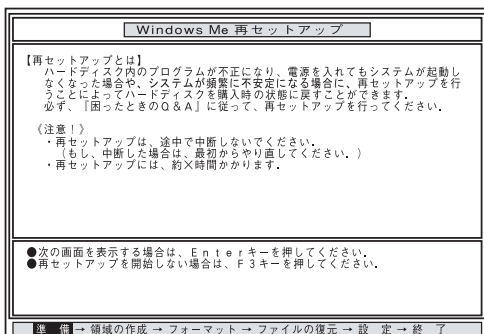
参照

FAT32とFAT16について 『もっと知りたいパソコン』PART1の「ハードディスク」

1 領域を削除する

1 パソコンの電源を入れる

- 2 電源ランプ(④)が点灯したら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブ(LaVie Mの場合は、「バックアップCD-ROM(起動用)」をCD-ROMドライブ)にセットする
次の画面が表示されます。



メモ

- ・「システムインストールディスク(起動用)」(LaVie Mの場合は「バックアップCD-ROM(起動用)」)のセットが遅いと、この画面が表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクやCD-ROMをドライブから取り出し、電源を切ってもう一度手順1からやり直してください。
- ・「Invalid system disk...」と表示された場合は、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットしなおして、【Enter】などのキーを押してください。
- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「再セットアップとは」の画面で確認してください。

LaVie Mをお使いの場合は、このあと手順4に進んでください。

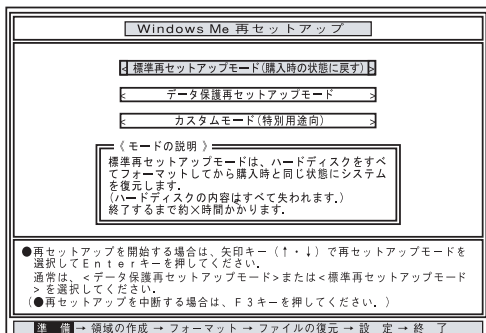
3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す

次の画面が表示されます。



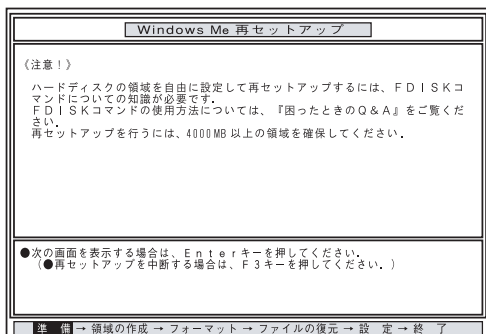
6 【Enter】を2回押して「カスタムモード(特別用途向)」が黄色になったら、

【Enter】を押す

カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

7 【Enter】を2回押して「ユーザ設定」が黄色になったら【Enter】を押す

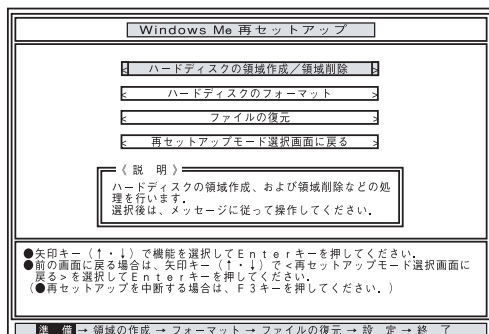
「注意!」の画面が表示されます。



カスタムモードでの再セットアップを中断して、標準再セットアップを行うときは、【F3】を押し、画面のメッセージにしたがって最初からやり直してください。

8 【Enter】を押す

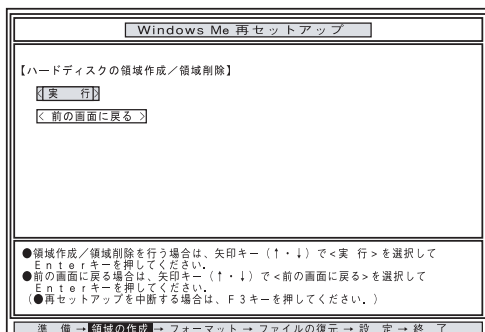
次の画面が表示されます。



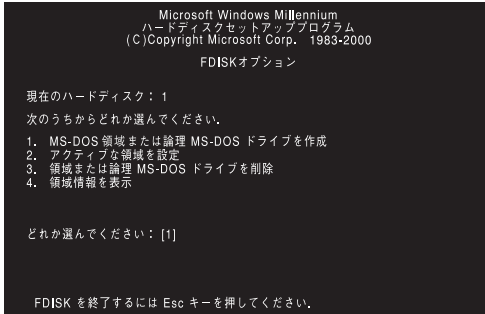
9 「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっていることを確認し、【Enter】を押す

「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっていないときは、【**↑**】を押して、黄色にしてから【Enter】を押してください。

「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」画面が表示されます。



- 10** 「実行」が黄色になっていることを確認し、【Enter】を押す
「実行」が黄色になっていないときは、【**3**】を押して、黄色にしてから【Enter】を押してください。
「FDISKオプション」の画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないときは、「基本MS-DOS領域を削除する」(p. 127)へ進んでください。論理MS-DOSドライブおよび拡張MS-DOS領域があるときは、次の「論理MS-DOSドライブを削除する」へ進んでください。

論理MS-DOSドライブを削除する

- 11** 「FDISKオプション」の画面で、【**3**】領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 12** 【**3**】拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
ドライブ一覧とともに、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。
- 13** 削除するドライブを選び(Dドライブの場合は【D】を押す)【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 14** 削除する領域にボリュームラベル(ドライブの名前)がつけられているときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押す
削除する領域にボリュームラベルがつけられていないときは、そのまま【Enter】を押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 15** 【Y】を押して【Enter】を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。

- 16** 残りのドライブがある場合は、同様に13～15の手順ですべて削除するすべてのドライブが削除されると「拡張 MS-DOS 領域の論理ドライブはすべて削除されました」と表示されます。
- 17** 【Esc】を押す
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されます。
- 18** 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

拡張MS-DOS領域を削除する

- 19** 「FDISKオプション」の画面で、【3】領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 20** 【2】拡張 MS-DOS 領域を削除)を押して、【Enter】を押す
「注意！ 削除した拡張 MS-DOS 領域のデータはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されます。
- 21** 【Y】を押して【Enter】を押す
「拡張 MS-DOS 領域を削除しました」と表示されます。
- 22** 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

基本MS-DOS領域を削除する

- 23** 「FDISKオプション」の画面で、【3】領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 24** 【1】基本 MS-DOS 領域を削除)を押して、【Enter】を押す
現在のハードディスクの状態とともに、「注意！ 削除した基本 MS-DOS 領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されます。
- 25** 【1】を押して、【Enter】を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

26 「WINDOWSME」と入力して【Enter】を押す
別のボリュームラベルがつけられているときはその名前を入力します。ボリュームラベルがつけられていないときは、何も入力せずにそのまま【Enter】を押します。「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。

27 【Y】を押して【Enter】を押す
「基本 MS-DOS 領域を削除しました」と表示されます。

28 【Esc】を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次の「2 新しい領域を作成する」に進んでください。

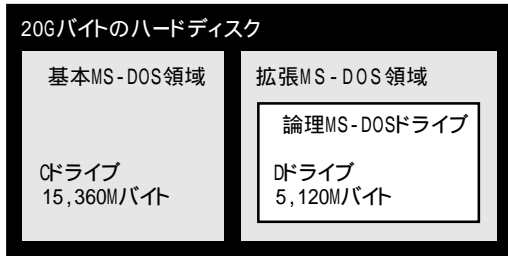
2 新しい領域を作成する

削除した領域の容量を合計した範囲のなかで、新しい領域を分けます。

[例] ハードディスクの容量が20Gバイトある場合

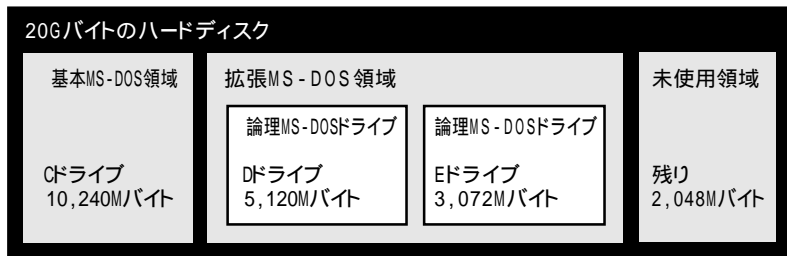
領域の分け方の例(1)

基本MS-DOS領域を15,360Mバイト(15Gバイト)にして、残りの拡張MS-DOS領域をすべて論理MS-DOSドライブにする



領域の分け方の例(2)

20Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を10,240Mバイト(10Gバイト)にして、残りの拡張MS-DOS領域を5,120Mバイト(5Gバイト)、3,072Mバイト(3Gバイト)の論理MS-DOSドライブにする



メモ

確保される領域が、入力した領域のサイズより大きくなる場合があります。

基本MS-DOS領域を作成する



チェック

カスタム再セットアップでは、基本MS-DOS領域(Cドライブ)にWindows Meのシステムやアプリケーションがインストールされます。領域のサイズを指定して作成するときには、「4,096Mバイト + 本機に搭載されているメモリ容量」よりも大きい値を指定してください。

- 1 「FDISKオプション」の画面で、【1】MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成 を押して、【Enter】を押す
「どれか選んでください」と表示されます。
- 2 【1】基本 MS-DOS 領域を作成 を押して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると「基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されます。

基本MS-DOS領域を最大サイズの領域にするかどうかでこのあとの手順が違います。それぞれ該当する部分をお読みください。

- ・最大サイズの領域にする場合
次の「基本MS-DOS領域に最大サイズを割り当てる場合」(p.130)に進んでください。
- ・最大ではないサイズを指定する
「サイズを指定して基本MS-DOS領域を作成する場合」(p.130)に進んでください。

基本MS-DOS領域に最大サイズを割り当てる場合

- 1 【Y】になっていることを確認して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されます。
- 2 【Esc】を押す
「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されます。
- 3 【Esc】を押す
「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示された場合は、【N】を1回押して「いいえ」を選んで【Enter】を押してください。
- 4 「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示された場合は、【Enter】を押す
パソコンが再起動します。

これで基本MS-DOS領域の作成が完了しました。

「3 ドライブを初期化(フォーマット)する」(p.134)に進んでください。

サイズを指定して基本MS-DOS領域を作成する場合

- 1 【N】を押して、【Enter】を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本 MS-DOS 領域を作ります」と表示されます。
- 2 必要な空き容量(p.129のチェック欄)以上の数値を入力する
- 3 【Enter】を押す
「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されます。
- 4 【Esc】を押します。
自動的にFAT32に設定されます。



『もっと知りたいパソコン』のPART1の「ハードディスク」の「FAT32ファイルシステムの利用」をご覧ください。

「基本 MS-DOS 領域を作成しました」と表示されます。

- 5 **【Esc】**を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。
- 6 **【2】**アクティブな領域を設定) を押し、**【Enter】**を押す
「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。
- 7 **【1】**を押して、**【Enter】**を押す
「領域1がアクティブになりました」と表示されます。
- 8 **【Esc】**を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

拡張MS-DOS領域を作成する

- 1 **【1】** MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成) を押し、**【Enter】**を押す
- 2 **【2】** 拡張 MS-DOS 領域を作成) を押し、**【Enter】**を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合で(%)入力してください。拡張 MS-DOS 領域を作ります」と表示されます。
- 3 最大サイズが表示されていることを確認して、**【Enter】**を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると「拡張 MS-DOS 領域を作成しました」と表示されます。
- 4 **【Esc】**を押す
ドライブのチェックが始まります。
チェックが終わると「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

論理MS-DOSドライブを割り当てる



チェック

実際に領域確保されるサイズが、入力した値よりも数Mバイト大きく表示される場合があります。

1 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てないときは、数字を入力して【Enter】を押す

そのままの状態では【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。このあとは表示されたメッセージにより手順が違います。

- ・「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示された場合(領域確保サイズが2,048Mバイト以上の場合)
【ESC】を押す
自動的にFAT32に設定されます。
- ・「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示された場合(領域確保サイズが512Mバイト以上2,047Mバイト以下の場合)
【N】を押して【Enter】を押す
FAT32に設定されます。
(FAT16にしたい場合は【Y】を押して【Enter】を押してください)
- ・「このドライブはFAT16が標準設定になっています。FAT32に変更しますか(Y/N)?」と表示された場合(領域確保サイズが33Mバイト以上511Mバイト以下の場合)
【Y】を押して【Enter】を押す
FAT32に設定されます。
(FAT16にする場合は【N】を押して【Enter】を押してください)
- ・「このドライブはFAT16です。FAT32には小さすぎます。」と表示された場合(領域確保サイズが32Mバイト以下の場合)
【ESC】を押す
自動的にFAT16に設定されます。



メモ

割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、続けて「論理ドライブのサイズをMバイトが全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。最大サイズを割り当てない場合は、数値を入力して【Enter】を押してください。そのままの状態では【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

- ## 2 拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで、上記の手順をくりかえして、すべての拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに割り当てる
- すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

3 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。



FDISKオプションの画面の「4.領域情報を表示」で作成した領域を確認することができます。

4【Esc】を押す

「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示されます。

5【Esc】を押す

6「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示された場合は、【 】を1回押して「いいえ」を選んで【Enter】を押す

7「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示された場合は【Enter】を押す



チェック

ここではシステムインストールディスク(起動用)(LaVie Mの場合は「バックアップCD-ROM(起動用)」)がドライブから取り出さないでください。

パソコンが自動的に再起動します。

自動的に再起動しない場合は、電源スイッチで電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れます。機種によって、再セットアップの注意事項を説明する画面が表示されることがあります。内容をよく読んで、【Enter】を押してください。Windows Me 再セットアップの画面が表示されます。

これで領域が作成されました。

次の「3 ドライブを初期化(フォーマット)する」に進んでください。

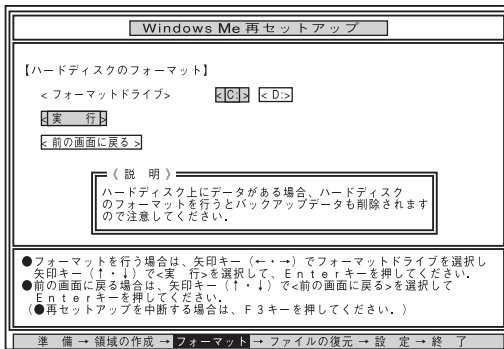
3 ドライブを初期化(フォーマット)する

新しく確保した領域を、次の手順で初期化(フォーマット)します。

● チェック

- ・領域を削除しなかったドライブはフォーマットしないでください。フォーマットすると、ドライブ内のすべてのデータが削除されます。
- ・「システムインストールディスク(起動用)」「LaVie Mの場合は「バックアップCD-ROM(起動用)」はドライブから取り出さないでください。

- 1 【**↑**】を1回押して「ハードディスクのフォーマット」が黄色になったら、【**Enter**】を押す
次の画面が表示されます。



作成したドライブ数によって<フォーマットドライブ>の表示は異なります。

- 2 「C:」と「実行」が黄色になっていることを確認して【**Enter**】を押す
「注意!ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますが(Y/N)?」と表示されます。
- 3 【**Y**】を押して、【**Enter**】を押す
フォーマットがはじまります。ドライブのサイズにもよりますが、1Gバイトでおよそ1分前後ほどかかります。
フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。
- 4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【**Enter**】を押す

ボリュームラベルが必要がない場合は、そのまま【Enter】を押してください。



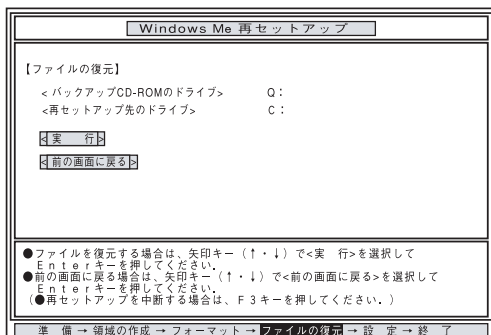
ボリュームラベルは、ドライブの名前です。半角文字で11文字まで、全角文字で5文字まで入力できます。ボリュームラベルは、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとからボリュームラベルをつけたり、名前を変更するには、「マイコンピュータ」ウインドウでドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選び、「全般」タブで名前を入力、変更します。

「Windows Me 再セットアップ」の画面に戻ります。

- 5** 新しく領域を確保したドライブはすべて、手順1～4をくりかえして、フォーマットする(手順2のドライブ名は、【 】を押して選んでください)ドライブを5つ以上作成(Gドライブ以上作成)した場合は、これ以降のドライブは手順1の画面には表示されず、ここではフォーマットできません。G以降のドライブについては、アプリケーションの再セットアップ終了後に「7 ハードディスクを5つ以上に分割した場合」(p.137)をご覧ください。

4 システムを再セットアップする

- 1** 「Windows Me 再セットアップ」の画面で【 】を数回押して「ファイルの復元」が黄色になったら、【Enter】を押す次の画面が表示されます。



- 2** 「実行」が黄色になっていることを確認して【Enter】を押すシステムの再セットアップがはじまります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがってフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えてください。システムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。LaVie Mをお使いの場合は、このあと手順4に進んでください。

3 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク」を取り出す

4 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

このあとは、お使いの機種によって手順が異なります。

LaVie C/LaVie Mの場合は、「LaVie C/LaVie Mをお使いの場合」へ、LaVie Sの場合は、「LaVie Sをお使いの場合」へ進んでください。

LaVie C/LaVie Mをお使いの場合

5 【Enter】を押す

システムが再起動します。しばらくの間、新しいハードウェアの検出が行われたあと、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。

このあと「5 Windows Meの設定をする」へ進んでください。

LaVie Sをお使いの場合

5 電源スイッチを数秒間押す

パソコンの電源が切れます。

6 フロッピーディスクドライブを取り外し、TVチューナパックを取り付ける



参照

『もっと知りたいパソコン』PART1の「フロッピーディスクドライブ」

7 パソコンの電源を入れる

システムが起動します。

しばらくの間、新しいハードウェアの検出が行われたあと、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。

このあと「5 Windows Meの設定をする」へ進んでください。

5 Windows Meの設定をする

p.99の手順にしたがってWindows Meの設定をしてください。

6 アプリケーションを再セットアップする

Office XPモデルの場合は、p.102の手順にしたがって「Office XP Personal」を再セットアップしてください。

7 ハードディスクを5つ以上に分割した場合

ドライブを5つ以上(Gドライブ以上)作成した場合は、Gドライブ以降のドライブを次の手順で初期化(フォーマット)してください。

- 1 パソコンの電源を入れる
Windows Meが起動します。
- 2 デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 フォーマットするドライブのアイコンを右クリックする
- 4 表示されたメニューで「フォーマット」をクリックする
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 5 「フォーマットの種類」欄で「通常のフォーマット」をクリックする
- 6 「開始」ボタンをクリックする
フォーマットの確認画面が表示されます。
- 7 「OK」ボタンをクリックする
しばらくするとフォーマットが終了し「フォーマット結果」ウィンドウが表示されます。
- 8 「閉じる」ボタンをクリックする
スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。
- 9 「OK」ボタンをクリックする
スキャンディスクのヘルプが表示されます。
- 10 「フォーマット」の画面をクリックする
- 11 「閉じる」ボタンをクリックする
- 12 ヘルプの内容にしたがってスキャンディスクを実行する
フォーマットできなかったドライブがほかにもある場合は、手順3～12を繰り返してフォーマットしてください。

8 各種の設定をする

p.105の手順にしたがって設定をしてください。

P A R T

4

付録

アフターケアなどの保守サービスについて説明しています。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスのご相談は、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などで承っています。

詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。



チェック

ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。

消耗品 / 消耗部品について

種類	該当する添付品 / 部品	代金
消耗品 (使用頻度や経過年数により消耗し、一般的に再生が不可能なもの)	バッテリーパック フロッピーディスク(媒体) CD-ROM / DVD-ROM (媒体)	保証期間内でも有料です。
消耗部品・有償交換部品 (使用頻度や経過年数により消耗 / 摩耗 / 劣化し、修理再生が不可能な部品)	液晶ディスプレイ	保証期間内でも有料の場合があります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

譲渡 / 廃棄について

このパソコンを譲渡するには

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受けられたときには、所定の手続きにしたがって、「お客様登録」を行ってください。

譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡（売却）するときは、以下の条件を満たす必要があります。
本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること（本機に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください）

チェック

- ・パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。
- ・ご登録されている製品を第三者に譲渡（売却）される場合は、121ware登録センター（TEL：0120-469-121）までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けるお客様へ

「お客様登録」に必要な下記の事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。
ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

チェック

- ・「お客様登録申込書」が未使用で残っていても、「お客様登録申込書」は使わないでください。
- ・デスクトップ画面の「NECオンラインお客様登録」や、インターネットによる「お客様登録」は行わないでください。

記載内容

本体型名および保証書番号(本機背面または本機底部に記載の型名および製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No.」(いずれのソフトも同一)

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒183-8501 東京都府中市日新町1-10(NEC府中事業場)

NEC 121ware登録センター係行

このパソコンを廃棄するには

このパソコンを廃棄するときは地方自治体の条例にしたがって処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



チェック

一度ハードディスクに記憶されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、ハードディスクをフォーマットしたりしても復元できる場合があります。

データを消去したい場合には、市販のソフトなどを使うことをおすすめします。

索引

この本の索引

英数

FAT16	122
FAT32	122
「Invalid system disk Replace the disk,...」	47
LAN	79
「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」	47
MS-DOSプロンプト	78
NECのパソコン関連総合サイト	25
「Non-System disk or disk error」	48
NXパッド	63
「Operating System not found」	49
「Please Insert Another Disk...」	49
READMEファイル	25
Windows Me起動ディスク	7, 31
「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります」	47

あ行

アフターケア	140
アプリケーション	17, 76
ウイルス	3, 13, 83

か行

解像度	45, 59
拡張MS-DOS領域	121, 127, 131
カスタムモード	112, 116, 120
仮想CD-ROMドライブ	75
キーボード	68
輝度	45, 59
基本MS-DOS領域	121, 127, 129
休止状態(ハイバネーション)	52, 53
強制的にWindowsを終了する	40
強制的にパソコンの電源を切る	41
このデバイス用のソフトウェアが見つかりませんでした	74
コントロールパネル	iv, 35

コンピュータウイルス	3, 13, 83
------------------	-----------

さ行

再起動	27
再セットアップ	85
サウンド機能	70
サスペンド	51, 52
サポートセンタ	4
システムのバックアップ	7
システムを復元する	33
周辺機器	72
省電力機能	51
消耗品	140
消耗部品	140
譲渡	141
スキャンディスク	12, 27, 82
スタンバイ状態(サスペンド)	51, 52
ストール	40
セーフモード	30
セットアップ	42

た行

追加情報	25
データとインターネット設定のバックアップ	8
データ保護再セットアップモード	106
デバイスマネージャ	36
電源	42, 45
添付ソフトの使い方	iv
ドライバ	72
トラブルチェックシート	147

な行

「入力されたパスワードが間違っています」	55
----------------------------	----

は行

ハードディスク	12, 121, 128
廃棄方法	142

ハイパネーション	52, 53
ハングアップ	40
パスワード	55
パソコンの情報	36
バックアップ	7, 8, 33
バックアップしたシステムやデータを 復元する	33
バッテリー	57
バッテリー充電ランプ	57
標準再セットアップモード	95
復焔(レジューム)	52
フリーズ	40
ヘルプ	22
補修用性能部品	140

ま行

マイクロソフトサポート技術情報	26
-----------------	----

ら行

リソース	16
領域作成	128
領域削除	123
レジューム	52
ローカルエリアネットワーク	79
論理MS-DOSドライブ	126, 131

わ行

ワンタッチスタートボタン	77
--------------	----

トラブルチェックシート

お問い合わせの前に

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート1 あなたのパソコンの構成

ハードウェア(パソコンの情報調べるには、「サポートセンタ」「パソコンの情報」をクリックしてください。)

本体	
型名	
製造番号(パソコンの底部に記載されています)	
メモリの容量	MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「 MB の RAM」という表示の「 」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量	GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	GB(ギガバイト) MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用容量や空き領域が表示されます。	
周辺機器	品名・型名(メーカー名)
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PCカード	
その他の周辺機器	

ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー	
Windows Me	Windows 2000
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション	

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

(例:ワードパッドで入力したり印刷したりすると、突然止まってしまう。)

画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

(例:「このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。終了しない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。」と頻繁に表示される。)

そのトラブルはどんなときに起きましたか？

パソコンを起動するたびに起きる

そのアプリケーションを起動するたびに起きる

特定の操作を行うと起きる

はじめて起きた

(例:複数のソフトウェアを同時に使っているとき)

その他に気づいたことがあれば書いてください。

(例:エラーメッセージが出ている状態で電源スイッチを操作し、何回か電源を切った。)

「サポートセンタ」を活用しよう

「サポートセンタ」は、添付アプリケーションの操作方法を知りたいときや、パソコンを使って困ったときなどに、どうしたらよいかを画面上で見ることができる電子マニュアルです。

1 デスクトップ上の「サポートセンタ」をクリックする



サポートセンタ ここをクリックする

▼ サポートセンタのメインメニュー画面が表示されます。

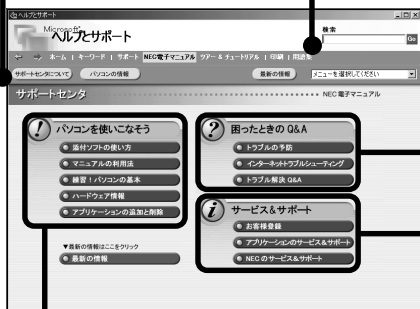
2 見たい項目をクリックする

サポートセンタについて

サポートセンタの内容と使いかたについて説明します。

用語集

パソコン関連の用語を説明しています。



サポートセンタのメインメニュー画面

? 困ったときのQ&A

- ・トラブルの予防
トラブルを予防するソフトの使いかたを説明します。
- ・インターネットトラブルシューティング
インターネットに接続する際に起こるトラブルの解決方法を説明します。
- ・トラブル解決Q&A
トラブルの解決方法をQ&A方式で説明します。

i サービス&サポート

- ・お客様登録
- ・アプリケーションのサービス&サポート
- ・NECのサービス&サポート

! パソコンを使いこなそう

- ・添付ソフトの使い方
このパソコンに添付されているソフトの使いかたの説明です。
- ・マニュアルの利用法
このパソコンに添付されているマニュアルを紹介します。



- ・練習!パソコンの基本
このパソコンの使いかたを練習できるソフトを起動します。
- ・ハードウェア情報
ハードウェアに関する情報を載せています。
- ・アプリケーションの追加と削除
各ソフトの追加と削除の方法を説明します。

困ったときのQ&A

LaVie



初版 2001年5月

NEC

P

853-810028-131-A

PC98-**NX** SERIES

LaVie